

パキスタン・イスラム共和国
北西辺境州初等教育改善計画基本設計調査

第1次現地調査概要報告書

JICA LIBRARY



J 1127186(3)

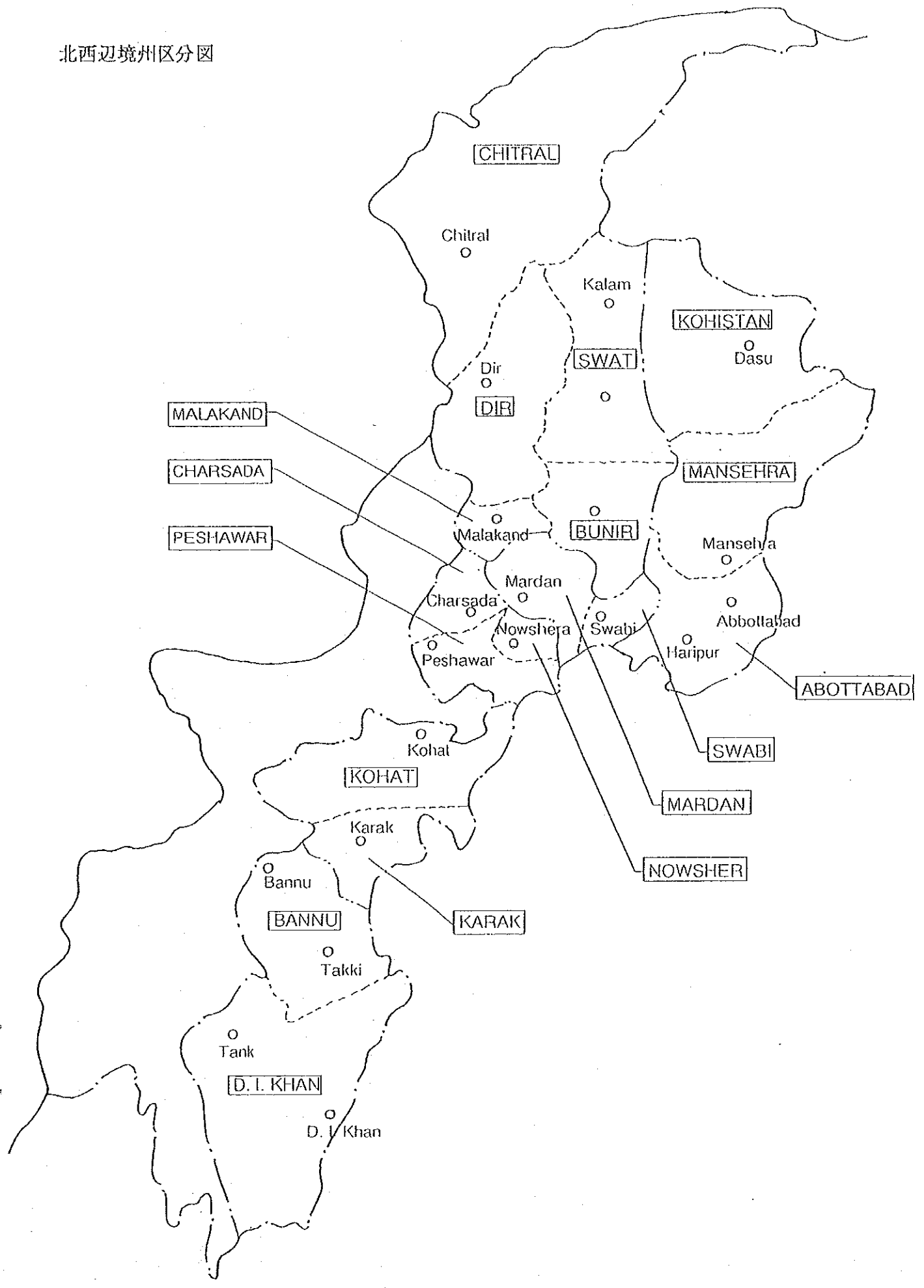
1993年10月

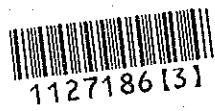
JICA調査団

JR

LIBRARY

北西边境州区分图





1127186 [3]

パキスタン・イスラム共和国
北西辺境州初等教育改善計画基本設計調査

第1次現地調査概要報告書

目 次

1. 要請の経緯と内容	1
2. 北西辺境州初等教育の現況	2
3. 北西辺境州初等教育の開発計画	4
4. 北西辺境州初等教育の実施体制	5
5. 実施・運営計画の検討	7
6. 類似計画及び他の国際援助機関等の計画との関係	9
7. 計画地の概要	10
8. 計画の構成要素の検討	12
9. 供与すべき施設の内容検討	20
10. 建設候補地の選定	23
11. 第2次調査関連事項	32
12. W I Dの視点からの報告	35

資料1 現地調査団の構成及び日程

2 Minutes of Discussions

3 面談者リスト

1. 要請の経緯と内容

パキスタン・イスラム共和国における成人の識字率は31%で、初等教育を受けるべき児童の半数以上が未就学であり、他のアジア諸国と比較して低い水準にある。したがって、教育10ヵ年計画(1992/2002)において国家開発の基盤としての国民教育水準の底上げが説かれ、基礎教育においては初等教育の就学率の向上が目標とされている。とくに、北西辺境州は山岳地域であり、適切な教育施設、教員の数が少ないため初等教育の就学率が低く、その改善が強く要望されている。

こうした初等教育の改善を目指し、世界銀行、ADB、USAID等が小学校及び教員養成学校の建設等の協力を実施している。わが国も平成3年11月にこの分野にかかるプロジェクト形成調査を実施し、その結果を受けて、先方政府より北西辺境州について、概略以下の無償資金協力が要請された。

- ・小学校の建設 78校(200人収容、5教室、トイレ、飲料水供給)
- ・女子教員養成校の建設 1校
- ・理数科用教材
- ・教育巡回指導車(車載教育機材を含む)

基本設計調査の実施にあたり、現地調査は二回に分割し、以上のうち小学校の建設に関する項目を第一次、その他は第二次の調査対象とされた。

第一次調査の対象である小学校の要請地は、北西辺境州の各地区に広く分布しており、とくに北方の遠隔地については工事の困難が予想されるので、次年度以降とするのが望ましいという議論がなされた結果、チトラール、コヒスタンの両地区を除外して要請校数を70校に絞った(要請地名は、ミニッツに記載)。

2. 北西辺境州初等教育の現況

1992年度（'92-'93）の調査資料によると、NWFP初等教育の学校数、就学者及び教員数等は下表の通りである。

NWFP初等教育の概況（1992年度）

	校数	就学者数	教員数	未就学者数	就学率
男子	15,131	966,650	35,657	548,506	63.8%
女子	4,059	279,053	11,978	960,596	22.5
計	19,190	1,245,703	47,635	1,509,102	45.2%

私立校のデータがないので未就学者数は正確とはいえず、従って就学率の計算も若干正確を欠くが、就学率は低く、特に女子のそれが非常に低いことは確かである。地区（District）単位では、後述するようにコヒスタンの就学率が異常に低く、僅かに8.8%（男女計）、その他はバンヌーの33.1%からコハット（最高）の64.1%の間に分布している。

入学後の進学率について、小学校1年に入学した者の2年次への進学率は1983-84のデータではNWFP都市部で37%、農村部では29%（女子22%）しかないとプロ計報告書で伝えているが、この点について最近のデータでは下表に見るように、2倍以上に改善されているのがわかる。

NWFP初等教育進学率（1991→92年次）

		Kachi ↓ CL 1	CL 1 ↓ CL 2	CL 2 ↓ CL 3	CL 3 ↓ CL 4	CL 4 ↓ CL 5
男	進学率	81.4	85.7	87.0	88.3	83.6
	留年率	9.8	8.3	8.0	7.3	7.0
	退学率	8.8	5.9	5.0	4.4	9.5
女	進学率	73.7	80.6	85.8	84.1	86.8
	留年率	11.6	9.6	9.7	9.6	8.4
	退学率	14.7	9.8	4.5	6.2	4.8
計	進学率	79.2	84.4	86.7	87.3	84.3
	留年率	10.3	8.7	8.4	7.9	7.3
	退学率	10.5	7.0	4.9	4.8	8.4

出典：EMIS CELL, NWFP初等教育部

次に、小学校におけるKachi-classの存在に注意する必要がある。上表にもあるように、小学校5年間の前にKachiと呼ばれるクラスが存在し、政府はこれを正式には認めていないが、現実には学籍簿にも登録され、小学校の一部に組み込まれている。NWF Pで92年度の在籍数は男 241,114、女 127,761である。Kachiとは「半熟の」という意味で、これに対し1学年を通常 Pakki (完熟の)と呼んでいる。Kachi クラスの必要性について、あるDEOは「Kachi クラスは1学年に入るための必要条件ではないが、1学年の教科内容が多いので、1学年に直接入学したのでは負担が大きすぎるからだ」と説明した。

小学校の施設の状況はまことに貧弱で、校舎はあっても大部分は1校に2教室しかなく、生徒は床に敷いたジュート布の上に座って授業を受けているほか、青空教室も多い。下表にその状況を示すが、全く校舎のない学校が約 1/4もある。また統計資料はないが、便所・飲み水のない学校も多い。

NWF P小学校校舎の状況

	校 数	比 率
校舎のない学校	4,709	24.5%
修繕を要しない学校	5,418	28.2
小修繕の必要な学校	2,838	14.8
大修繕の必要な学校	4,222	22.0
一部建替を要する学校	538	2.8
全部建替を要する学校	1,172	6.1
不明のもの	293	1.5
合 計	19,190	100.0

出典： EMIS CELL, 初等教育部, 1993.2

3. 北西辺境州初等教育の開発計画

NWFPの第7次5ヶ年計画(1988-93)における初等教育政策は次のようなものであった。

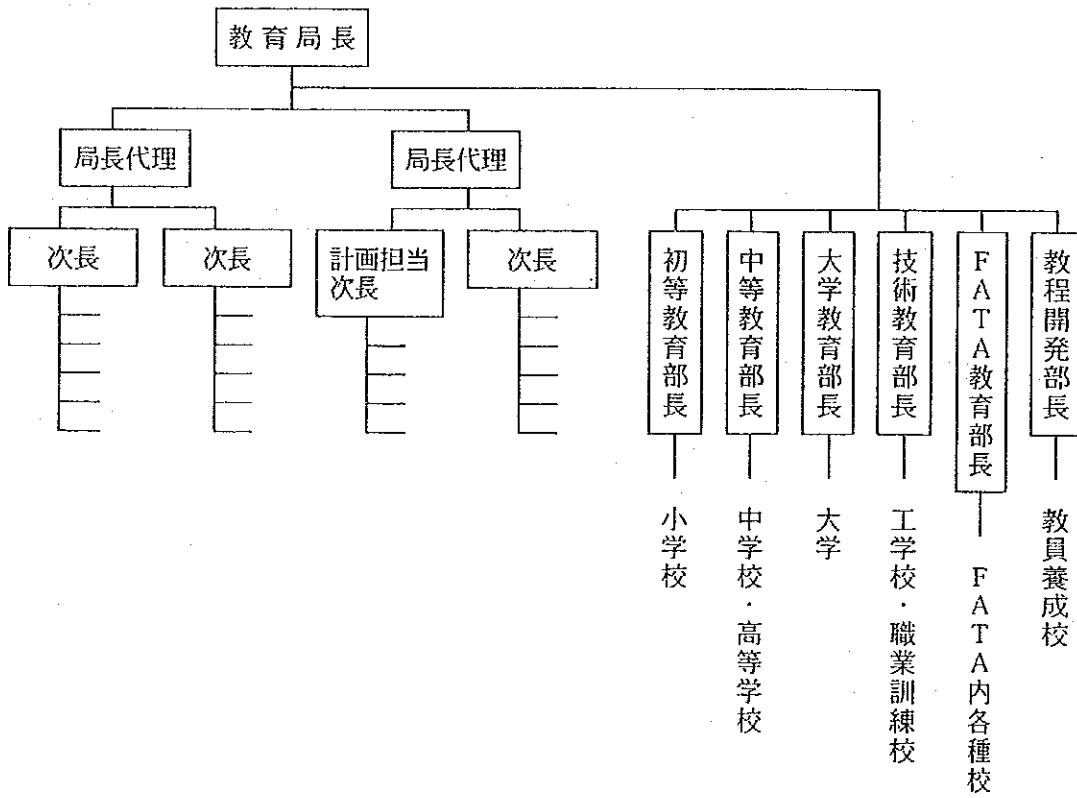
- ・初等教育を公平に受けられるようにすること。
- ・特に女子の就学率を上げることによる識字率の向上。
- ・男女の就学率の差を縮める。
- ・プライベートセクターの活動を促進する。
- ・校舎の新增設、家具・人材の供給により施設の改善をはかる。
- ・教職課程修了者の採用を増やす。
- ・地方教員の募集にあたり、年齢の制限を廃止する。
- ・教科書を改良する。
- ・信頼性のある統計ができるようデータ収集システムを改善する。

そして、これらの政策を実行に移すために以下のアクションをとっている。

- ・初等教育専担の部門を1991年1月に開設し、管下に35(男18、女17)の地区教育事務所を設けた。1,000校以上の小学校(内60%は女子校)を90~91年度に新設し、また2,000以上のモスクスクールを開設した。92年度には1,019校の新設が目標とされている。地区教育事務所を中心として就学率(特に女子)の向上、学習効率の向上、教員の再訓練、退学・留年の減少を図る。
- ・男子校への女子の入学、また女子校への男子の入学を許可する。
- ・私立学校(特に女子と農村部)の拡張と改良を促進するためFrontier Education Foundationを創設する。
- ・既設校に対し2,000教室以上を2年間で増築した。
- ・教員の募集、任命について年齢その他の制限を緩和する。
- ・Kachiと1,2学年用の算数、理科、ウルドゥ語、バシュトゥ語の教科書、練習帖、教員用ガイド、ならびに補助教材を開発した。Kachi用のものは1年間の試用を経て本採用できる段階にある。1学年用のものは93年度にフィールドテストが行われる。
- ・各援助機関による初等教育プロジェクトは初等教育部長の管理下にあり、コンピュータによる管理、モニタリングがなされている。
- ・教程開発局をより効率的に機能するよう再編成する。
- ・コンピュータによる教育情報管理システムを創設し、初等教育部と8地区の教育事務所に導入し、残りの31の地区事務所にも93年末までに導入、整備される。これによって各校に関する統計データ、財務及び会計、施設、教員の訓練・人事、学習成績データの分析等の管理が可能となる。

4. 北西辺境州初等教育の実施体制

本計画の実施機関はNWF Pの教育局である。NWF Pの教育局 (Education Department) の組織体制は図のようになっており、本計画の直接担当は、州教育局本局内では計画担当次長 (Chief Planning Officer)、附属部門では初等教育部長 (Director for Primary Education) である。また教員養成校については教程開発部長 (Director for Bureau of Curriculum Development & Education Extension Services) の担当である。



各地区 (District) での初等教育実行体制としては、地区ごとに男子・女子別に教育長 (DEO, District Education Officer) が置かれ、その下の各 Tehsil に対応して男・女別に副教育長 (Sub-Divisional Education Officer) がおり、さらに Assistant SDEO がいる。

NWFP 初等教育部門の教職員総数は、初等教育部長以下74,556人 (1992年) と報告されている。

NWFP 初等教育部門の経費は経常費 (Recurring cost) と開発費 (Development cost) に分けられるが、それらの支出状況は下表の通りである。

(単位：百万ルピー)

年度	経常費		開発費	
	支出額	教育部門に占める割合	支出額	教育部門に占める割合
1988	909.876	43.4 %	174.136	37.1 %
89	955.411	40.5	213.537	42.5
90	1,200.466	46.9	173.164	29.6
91	1,559.694	49.3	296.315	39.8
92	1,774.812	48.4	1,007.248	68.3

すなわち、経常費は教育部門全体の年間予算に対し毎年45%位の支出 (州全体の予算に対しては11%位) で、92年度予算は日本円にして約64億 2,300万円に相当する。開発費については変動が大きく、諸外国の援助動向による影響と思われる。92年度は急激に伸びているが予算の段階であるので不確定といえる。

5. 実施・運営計画の検討

パキスタンでは、イスラムの伝統から男女別学であった（実際には共学になっている学校も多い）が、政府は現在政策として共学制を推進しており、本計画対象校も共学で考えている。共学の学校では、教員はすべて女性とする必要があるとしている。女性教員は男性徒と女生徒の両方を教えることができるが、女生徒は3年生以上になると男性教員から教わることはできないし、また女性教員が男性教員と同じ職場で働くこともできないというのがその理由である。

本計画では、対象校をモデルスクールあるいはクオリティスクールと位置付けている。その意味は、より高い資格の教員とよりよい施設の学校ということで、各地区(district)に少なくとも4～5校設けようという計画であった。教員については小学校の教員資格は通常P.T.C (Primary Teacher's Certificate; 高校2年修了後1年間のコースで取得) であるが、計画対象校では中学校も教えられるC.T (Certificate of Teaching; 大学予科2年修了後1年間のコースで取得) の資格の者を中心として下記の構成を考えている。

しかしながら、これからの小学校をすべてこの方式に変えていくというのではないことは勿論、現在のP.T.C資格の教員の扱いを将来的にどうして行くかということについてもはっきりしたものはないので、これはひとつの実験的なもの、ないしは初等教育の現状打開への試みと受取ることができる。

モデル校のスタッフ計画

1. 教員

	資格	B.P.S 等級	人数
校長	M.A./M.Sc., B.Ed.	16	1
教師	B.A./B.Sc., CT	14	6
イスラム教師		14	1
体育教師		9	1
	計		9

2. 職員

		等級	人数
チョキダール	(門番)	1	1
ピヨン	(雑用係)	1	1
スイーバー	(掃除係)	1	1
	計		3

計画校運営の予算面については、76校の建設計画コンセプトクリアランス要請書に下記の年間経費が計上されており（304,000ルピー／年／校）、問題はないと思われる。

モデル校の年間経費計画

校長給与	24,250 Rs
教員 〃（8名）	137,520
使用人 〃（3名）	33,120
住宅手当	58,460
生活 〃	1,764
医療 〃	7,700
通勤 〃	7,000
通信費	6,000
電気料金	6,000
暖房費	6,000
文房具	6,000
その他	10,000
計	303,814 Rs

なお、敷地囲障（門・塀）、構内整備、電気・水の引込工事など、相手国側が負担すべき建設工事費については、教育部門から別途要求して公共事業局が計画することになっている。

6. 類似計画及び他の国際援助機関等の計画との関係

NWFP教育局で聞いたところでは、NWFPにおける小学校建設計画は、92年度(92.9-93.8)において900校が新規計画としてあげられ、これに進行中の385校を加えると1,285校が計画中ということになる。資金的にはこのうち1/4が州政府、1/4が連邦政府(実行はその半分)、1/2は外国援助に頼っている。前記1,285校は2教室タイプで、そのうち603校は工事が完了したが残りはできていない。調査に当り、本計画と他の援助機関による計画が重複していないことを確認した。以下に主な外国援助機関による援助内容を記す。

USAID (Primary Education Development Project) は10年計画を4・5年に短縮して94年9月で援助を打ち切ることになった。USAIDの計画の内小学校建設は10年間に160M\$と予定されたものが4・5年間に30M\$に縮小され、これで2教室タイプの小学校1,100校を建てる計画である。USAIDの校舎建設は世銀と共同で出資して建設は公共事業局(C&W)にまかせるので、どれがUSAIDのものということとはできない。

GTZ (ドイツ) の計画 (Primary Education - Charsadda District, 1992.11 ~ 1995.9) は、チャルサダ地区において、1. 既存校の修繕、2. 増築200校、3. 新築50校(女子校40、男子校10)、4. 女子教員養成校(100人)の順に行う計画である。新築校の標準設計を作るのはこれからだという。

ADBの計画はCommunity Model Schoolと銘打って176校を建設するものである。このうち120校は現在2教室ある学校に3教室を増設し、56校は5教室を新設するものである。93年9月に上記の内36校が完成しているが、まだ正式に引渡されていないという。この計画では机・椅子の供与(2人用一体型)も含まれている。

7. 計画地の概要

最終的に要請された19地区（*注：当初の要請からチトラール及びコヒスタンの2地区が撤回されたことにより、対象地区は18地区となるはずであったが、93年9月よりマンセラ地区内に新たにバタグラム地区が設立されたため、計19地区となった。）計70の全ての建設候補地の敷地調査は現地建築コンサルタントの Engineering Consultant（EC）に委託した。ECは9月下旬より調査を開始し、10月末までに全ての候補地の敷地測量と周辺環境条件調査を、また11月中旬までに60候補地の土質調査を完了する予定である。10月25日現在、ECからは53候補地分の調査結果ドラフトレポートが寄せられてきているが、その概要は以下のとおりである。

（1）用地取得状況

- 政府保有地であり、小学校建設用地として承認されているもの：18
- 地主が土地を無償供与する旨宣誓書で確認しているもの：9
- 地主より土地の無償供与を口頭だけで確認しているもの：26

また調査済みの53候補地のうち新設サイトは46、既存の小学校の敷地を利用するものは7サイトであった。

（2）敷地へのアクセス

半数以上の候補地のアクセス道路は未舗装であり、道幅も3～4mと狭い。しかし工事が不可能ということではなく、敷地へのアクセスは概ね良好といえる。道路が極端に狭いか、道が無い場合、工事用車両のアクセスが困難で建設候補地として不適格なものは現時点6サイトある。

（3）商用電源

商用電源の行き渡っていない候補地は現時点皆無である。ほとんど全ての候補地周辺に低圧線がもうけられており、電源の確保には問題はない。ただし、敷地周辺に高圧線しかなく、変圧器の設置が必要と思われるサイトが約10サイトある。

（4）給水

給水の状況はあまり芳しくない。敷地周辺、100m以内に市水パイプラインがあるサイトは約3分の1の17サイトである。残りは全て井戸からの給水となるが、敷地周辺の村落の既存の井戸の調査結果データでは、水位はほとんど30m以内にあり、50m前後のものは3サイトのみであった。

また、ECが候補地に訪れた際、敷地案内を担当した地区教育部により、以下の6

地区において、ミニッツの内容と異なる場所に変更してしまったものが合計14サイトあり、新候補地として16サイトを挙げていることが明らかとなった（*註：当該14サイトは上記の53サイトのカウントに含まれていない）。その内訳は以下のとおりである。

(地区名)	(変更数)	(前候補地)	(新候補地)
Charsadda	1 / 4 サイト	Shaki Kulali	Haji Dost Mohammad Killi
Abbotabad	2 / 4 サイト	Bandi Dhondian Juna Chamhatti	Bandi Attai Khan Civil Officer Colony
Haripur	1 / 4 サイト	Pircot	Mohallah Khoo
Mansehra	1 / 4 サイト	Bisian	Battal
Bannu	2 / 4 サイト	Bazida Surrani Amaikillg Noor Aslam	Kotta Shar Zaman Azmat Killa Noor Aslam Kotka Safur Rehman
Lakki	1 / 2 サイト	Ghgrni Khel	Doulat Taja Zai Nar Mand Maltan
Swat	4 / 5 サイト	Gujar Tangay Faqir Abad Qazi Abad Chail	Kabal Khuaza Khela Madtta Odegram
Malakand	2 / 2 サイト	Niamat Abad (Koper) Qaadam Khela	Meherdi Molhammad Gul Korona

地区教育部が初等教育本部に無断でサイトを変更してしまったのは極めて残念であるが、サイト選択の準備が不十分であったこと、調査団の厳しいスケジュールに合わせてその選択を行わなければならなかったことを考えると、当該地域の通学区域における未就学児童数等の条件が整う候補地であれば、出来るだけ柔軟に対処する方針としたい。特に Abbotabad, Haripur, Mansehra 及び Swat の3地区については、後述するように教育に対する関心が高い地区であり、この3地区の新候補地8サイト中6サイトは、すでに官有地として確保済み（5サイト）もしくは地主からの宣誓書を既に取得済み（1サイト）である。

8. 計画の構成要素の検討

(1) 建設用地の取得

1) 土地の無償供与の背景

北西辺境州教育局が官有地として保有している用地が少ないことが教育施設の拡充の大きな障害の一つとなっているようである。前述の官有地18サイトも既存の小学校の校庭を利用するものが7サイトあり、新設サイトとしては11しかなくこれは要請の学校数全体の15%にすぎない。これまで建設された小学校の建設用地のほとんどは、その地域の土地所有者からの無償提供によるものとされている。

土地の価格は2キャナル(約1,000㎡)で約5~6ラークス(日本円換算約200万円、面積単価約2千円)が相場といわれているが、これは教員一人の約25年分の給与に相当(教員一人当たりの平均年収は約8万円)することから、年間の予算のほとんどが職員への給与に消えてしまっている教育局初等教育部にとってみればやはり、大きな負担であることには違いない。

一方、土地所有者の立場からは所有地がベシャワール等人口の集中した都市部でない限り、土地の所有は財産になり得ない。従って、地主が土地を政府に無償提供する背景には、政治的な意図や本人の老後あるいは親族が政府の関連施設の門番等の役職に就き安定した収入を得ることを期待するといった、もたれあいの関係が存在するようである。

2) 本計画における用地利用の条件

前述の土地供与に関わる政府と土地所有者との関係が、最終的にどのような帰結になるのかは明らかではない。しかしながら、土地の引き渡し後の所有者と政府機関とのトラブルはかなり多く見受けられるようである。パンジャブ州の場合ではあるが、世銀が現在行っている小学校の建設計画では約半数の建設地でトラブルが発生しているとの報告もある(詳細不明)。

調査団はこの点に留意し、本計画の候補地の最も大きな選択の条件として用地の確保を挙げ、敷地選定の条件として少なくとも以下の2項を満足するものを対象とすることを伝え、その了解を得た:

- 政府保有地であり、小学校建設用地として承認されていること
- 地主が土地を無償供与する旨宣誓書で確認されていること

初等教育部は地主の口頭だけで了解を取りつけている候補地について、宣誓書の獲得を急ぐと言明しており、10月末時点での現況報告書がイスラマバードの J I C A 事務所に届けられることになっている。

(2) 教員配置計画の現実性

本計画のモデル小学校は男女共学を意図したものであり、パキスタン国における文化的慣習から男女共学とする以上、教員は全て女性で構成される。また教育のレベルアップを図ろうとする試みから、教育局初等教育部では本来中等教育の教職に就くべき教員を割り当てる予定である。従って中等教育レベルの女子教員の有用性は本計画の遂行の重要な要素となる。また同国では女性が自分の生まれ故郷あるいは居住地を離れて、他の地区で勤務に就くことはほとんどないため、候補地の選定には当該地区にどれだけの有資格者がいるかが大きな判断の基準となる。構成教員のそれぞれにつき検討した結果を以下に述べる。

1) S.E.T. (Senior English Teacher)

校長として赴任する。大学の本科（*註：ここまでの課程を持つ大学をパキスタンでは Degree College と呼んでいる）過程卒業後（文学士、または理学士）、教員養成課程1年を経て教員資格 (Bachelor of Education: B.Ed.) を取得した者である。この B.Ed. の教員養成課程を持つ大学は北西辺境州ではペシャワール大学 (Peshawar University) とディーアイカーンにあるゴマル大学 (Gomal University) の2校しか無く、その他アラマイクバル公開大学 (A.I.O.U.: Allama Iqbal Open University) が通信教育でその教育課程を含んでいる。

添付の表-1 はペシャワールの人事院 (Public Service Commission) が今年2月に S.E.T. 資格者を対象に募集した中等教員の応募状況を示すものである。これによると女子教員の240のポストに対し、その約4倍の1,017人が応募してきていること、地域的にはペシャワール近隣地域 (ゾーン2)、辺境州南部のディーアイカーン周辺地域 (ゾーン4)、及びイスラマバードの北部に位置するアボタバード周辺地域 (ゾーン5) に集中していること、また最も応募者の少なかったスワットを中心とした北部地域 (ゾーン3) でも今回の要請全サイト数を上回る人数の応募があったことが解る。

また表-2はペシャワール大学の過去5年間の B.Ed.及び M.Ed. (Master of Education) 養成コースを専攻した女子の地区別の学生数を示すデータである。これによると、毎年同大学だけで40人近い B.Ed.を輩出していること(*註:最終的に資格を取得する学生は約7割とのこと)、両コース共ペシャワールからイスラマバードを結ぶ地域の学生が圧倒的に多いことが解る。

ディーアイカーン周辺の南部地域の学生数は少ないが、これらの地域の学生はゴマール大学に吸収されていると推測され(*註:同大学のデータは今回の第1次調査では入手できなかった)、全般的には人事院のデータとほぼ同じ数量分布になるものと推測される。

一方、アラマイクバル公開大学では1987年に B.Ed.コースが設立され、ペシャワール地区のみで現在までに計 314人の B.Ed.を輩出しており、その約4割が女性であるという。現在は同地区だけで計 779名の受講者(うち女性は約 300名)が就学中とのことであった。

以上のことから、S.E.T.の配置については各地区ともほとんど問題ないと言って良いであろう。

2) C.T. (Certificate of Teaching) 教員

モデル校教員の主たる構成要素となる。大学の予科(*註:ここまでの課程を持つ学校の主たるものとしてはパキスタンでは Higer Secondary School と Intermediate Collegeの2種類がある)相当の過程を終了し、中間試験に合格しその証明書(I.C.: Intermediate Certificate)を獲得した後、教員養成学校(CET: College for Elementary Teachers)で教員養成課程1年を経て教員資格(C.T.)を取得した者である。

表-3は北西辺境州中等教育部が採用した各種教員の過去5年間の応募データを示すものである。これによると女性の C.T. 教員職の倍率はここ数年約3倍から5倍となっており、最新(1992年)のデータでも500人に近い有資格者が剰余的に存在していることが知れる。特に一昨年(1991年)のデータでは、13倍を越す倍率となっており、応募者は1,200人以上に達している。昨年(1990年)の10月時点での北西辺境州全体のC.T.教員の数は1,136人であることから、現教員数に匹敵する有資格者がいたことがわかる。

アラマイクバル公開大学では、1989年より C.T. 養成コースが設立され、ペシャワール地区のみで現在までに347人の C.T. 教員有資格者を輩出(うち女性は約140人)し、現在344人が受講中との事であった。

教員養成学校が毎年輩出している資格者のデータについては、今回の調査では入手できなかったが、上記の現状より、C.T.教員の手配についてもほとんど問題はないと言って良いであろう。同教員の地域的な分布についても S.E.T. とほぼ似通ったものとなることが推測される。

3) P.E.T. (Physical Education Teacher)

保健体育教師のことである。C.T.と同じ教育課程を経て I.C. を取得した後、体育教師養成学校 (Physical Education College) で1年間の教員養成課程を終了した者にその資格が与えられる。

表-3のデータによれば体育教師は男女とも毎年不足ぎみで定員に満たない年が続いている。実際の保健体育教師の有用性がどれくらいあるのかは定かではないが、場合によってはその取扱いを再考してもらう必要があるだろう。なお北西辺境州中等教育部門では、現在合計 482名 (1地区の平均24名) の女性の保健体育教師がその職に就いている。

4) T.T. (Theology Teacher)

宗教学教師のことであり、小学校の必須教科の1つであるイスラム学を担当する。中等教育計10年間 (Primary School 5年 + Middle School 3年 + High School 2年) を経てダルルラム (Dalululum) と呼ばれる宗教教師養成学校で1年間の教員養成課程を終了した者にその資格が与えられる。

宗教教師の有用性についての詳細データは今回の調査では入手できなかったが、中等教育部の話によれば毎年定員の2倍を越す応募があり、全く問題ないとのことであった。なお北西辺境州中等教育部門では、現在合計 446名 (1地区の平均22名) の女性の宗教学教師がその職に就いている。

以上のことから、モデル校女子教員としての有資格者はかなり潜在的に存在していることが知られ、その配置計画にさしたる困難が伴うことはないと判断できる。

なお添付の表-4はパキスタン国の教育全分野における学位と教員資格との相対関係を整理したものである。

表-1 1993年度の北西辺境州におけるS E Tの雇用・応募状況

Gender	Numbers of Posts (a)	Numbers of Applicants (b)	(b) / (a)	Attendance for the Examination		Total Population in Zone (d)	Population / Attendance (d) / (c)	
				Total	Zonewise Breakdown (c)			
Male	456	3,723	8.16	3,442	Zone 1	392		
					Zone 2	752	3,788,252	5,038
					Zone 3	905	2,932,004	3,240
					Zone 4	952	2,105,052	2,211
					Zone 5	441	2,236,020	5,070
Female	240	1,017	4.24	913	Zone 1	9		
					Zone 2	334	3,788,252	11,342
					Zone 3	78	2,932,004	37,590
					Zone 4	288	2,105,052	7,309
					Zone 5	204	2,236,020	10,961

* Legend : Zone 1: Federal Administrative Tribal Area (FATA)

Zone 2: Peshawar, Charsadda, Nowshera, Swabi, Mardan

Zone 3: Swat, Buner, Dir, Chitral, Kohistan, Malakand Ag.

Zone 4: D.I. Khan (including Lakki and Tank), Bannu, Kohat, Karak

Zone 5: Haripur, Abbottabad, Mansehra

* Remarks : 1. Data on Numbers of posts, applicants and attendance were collected from N.W.F.P. Public Service Commission.

2. Data on zonewise population is based on District Census Reports 1981, Population Census Organization, Islamabad.

表-2 ペシャワール大学における過去5カ年のB. Ed. 及びM. Ed. コースの地区別女子学生数

Name of the District	Course for B.Ed.						Course for M.Ed.						Total
	'88	'89	'90	'91	'92	Total	'88	'89	'90	'91	'92	Total	
1. Peshawar	20	20	18	12	27	97	5	1	1	5	2	14	111
2. Abbottabad	7	9	8	6	2	32	0	1	5	3	0	9	41
3. Mardan	8	2	3	6	3	22	1	1	1	1	3	7	29
4. Swat	1	4	1	2	4	12	0	0	0	0	0	0	12
5. Malakand Ag.	1	1	2	3	3	10	0	0	1	1	0	2	12
6. Nowshera	0	0	3	5	1	9	0	0	0	0	2	2	11
7. Karak	1	0	5	4	0	10	0	0	0	0	0	0	10
8. Swabi	0	0	2	1	5	8	0	0	0	0	1	1	9
9. Bannu	0	2	0	1	2	5	2	0	0	1	0	3	8
10. D.I. Khan	2	1	0	1	2	6	1	0	0	0	0	1	7
11. Charsadda	0	0	3	2	0	5	1	0	0	0	0	1	6
12. Haripul	0	0	0	2	1	3	0	0	0	1	2	3	6
13. Kohat	2	0	0	2	0	4	0	0	1	0	0	1	5
14. Mansehra	2	1	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	4
15. Chitral	1	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3
16. Dir	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	2
17. Kohistan	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. Lakki	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19. Tank	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20. Buner	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FATA	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	3
Other Province	2	4	4	2	0	12	0	0	0	2	0	2	14
(Total)	48	45	49	51	52	243	11	3	12	14	10	50	293

* Remark: The above data were collected from Institute of Education and Research, Peshawar University.

表-3 北西辺境州における過去5ヵ年の中等教育専門教師の雇用・応募状況

Year		CT		PET		TT	
		Male	Female	Male	Female	Male	Female
1988	Nos./A	1,734	264	93	17	NA	NA
	Nos./P	292	81	117	41	108	34
	Nos./Q	1,442	183	▲ 24	▲ 24	NA	NA
1989	Nos./A	1,792	228	70	14	NA	NA
	Nos./P	271	86	91	31	82	34
	Nos./Q	1,521	142	▲ 21	▲ 17	NA	NA
1990	Nos./A	3,043	292	125	Nil	NA	NA
	Nos./P	186	66	111	53	116	54
	Nos./Q	2,857	226	14	▲ 53	NA	NA
1991	Nos./A	2,765	1,285	23	24	NA	NA
	Nos./P	318	98	117	44	115	41
	Nos./Q	2,447	1,187	▲ 94	▲ 20	NA	NA
1992	Nos./A	3,513	614	NA	NA	NA	NA
	Nos./P	261	131	90	53	100	59
	Nos./Q	3,252	483	NA	NA	NA	NA

* Legend: CT ----- Certificate of Teaching
 PET ----- Physical Education Teacher
 TT ----- Theology Teacher
 Nos./A --- Numbers of Applicants
 Nos./P --- Numbers of Posts Sanctioned
 Nos./Q --- Numbers of Unemployed Qualification Holders
 NA ----- Data Not Available

* Remark: Data on 'Numbers of Applicants' and 'Numbers of Posts Sanctioned' were collected from the registers of Examination Division and Assistant Director of Directorate of Secondary Education, Peshawar, respectively, on September 28, 1993.

Step	Academic Degrees/Certificates	Duration	Schools	Subjects	Step	Professional Degrees/Certificates	Duration	Schools	Subjects
A1	/S.S.C.	10 Years	PS (5)+ MS (3)+ HS (2)	PS: (C) En/Is/Ma/Pa/PS/Sc/Ur	P1	/P.T.C.	1 Year	CET	(C) PE/Ps/SA and all SSC subjects except English
				MS: (C) En/Is/Ma/Pa/PS/Sc/Ur 2 of Ab/AC/Pa/Pe /Technical Subjects		T.T.	1 Year	DU	(C) Ah/Fq/Ko etc.
				HS: (C) En/Is/PS/Ur (E) A : GM/GS & 2 of Ab/AC /Pa/Pe/Ur Sc: Bi/Ch/Ma/Ph		Qari	1 Year	DU	(C) Reading of Holy Koran
						Diploma/ C.T. (Tech.)	3 Years	PI	(E) 1 of AT/Ch/Cv/EI/Es/Mc
A2	F.A./I.C.	2 Years	HSS, IC	(C) En/Is/PS/Ur (E) 3 of Cv/Ec/En/HP/Hs/Pa/Ur	P2	/C.T. (Gen.)	1 Year	CET	(C) PE/Ps/SA and all SSC subjects except English
	F.Sc./I.C.	2 Years	HSS, IC	(C) Ch/En/Is/Ph/PS/Ur (E) 1 of Bi/Ma		/C.T. (H.E.)	1 Year	CET	(C) PE/Ps/SA and all SSC subjects with H.E.
	F.Sc. (H.E.) /I.C.	2 Years	CHE	(C) En/Ch/Is/Mk/Pg/Ps/PS/Ur		C.T. (Agr.)	1 Year	ATC	(C) PE/Ps/SA and agricultural subjects
	D.Com.	2 Years	CC	(C) En/Is/OR/PS/Ur (E) 1 of Ac/Sh		C.T. (Tech.)	1 Years	ATC	(C) EI/Mw/PE/Ps/SA/Ww etc.
A3	B.A.	2 Years	DC	(C) En/Is/PS (E) 2 of Ec/En/Hs/Lw/Pa/Po/St	P3	B.Ed. (Gen.)	1 Year	IER	(C) HE/PE/Ps/SA and all SSC subjects
	B.Sc.	2 Years	DC	(C) Is/PS (E) 3 of Bi/Ch/MA/MB/Ph/St		B.Ed. (Tech.)	1 Year	IER	(C) (C) EI/Mw/PE/Ps/SA/Ww etc.
	B.Sc. (H.E.)	2 Years	CHE	(C) AC/En/Ch/Is/Mk/Pg/Ps/PS		M.A. (Edu.)	2 Years	IER	(C) 36 courses including some elective subjects
	B.Com.	2 Years	CC	(C) En/Is/OR/PS/Ur (E) 1 of Ac/Sh		M.Ed. (Tech.)	2 Years	IER	(C) 36 courses including 20 technical subjects
A4	M.A.	2 Years	PGC, UV	(E) 1 of Ec/En/Hs/Pa/Pe/Po/Ur	P4	M.Ed. (PS), M.Ed. (SS),	1 Year	IER	Advanced courses of B.Ed.
	M.Sc.	2 Years	PGC, UV	(E) 1 of Bo/Ch/Ph/Zo		P5	M.Phil. (Edu.)	2 - 3 Years	IER
	M.Sc. (H.E.)	2 Years	CHE	(E) 1 of Bc/Ch/Ec	Ed.D.		2 - 3 Years	IER	Research on a special issue
	M.Com.	2 Years	UV	(E) 1 of Commercial Subjects	Ph.D. (Edu.)	3 - 5 Years	IER	Research on a special issue	

1. Degrees/Certificates

- S.S.C. : Secondary School Certificate
- I.C. : Intermediate Certificate
- F.A. : Faculty of Arts
- F.Sc. : Faculty of Science (H.E.) : Home Economics
- D.Com. : Diploma in Commerce
- B.A. : Bachelor of Arts
- B.Sc. : Bachelor of Science
- B.Com. : Bachelor of Commerce
- M.A. : Master of Arts
- M.Sc. : Master of Science
- M.Com. : Master of Commerce
- P.T.C. : Primary Teachers Certificate
- T.T. : Theology Teacher
- C.T. : Certificate of Teaching (Tech.) : Technical (Gen.) : General
- P.E.T. : Physical Education Teacher (Agr.) : Agriculture (Edu.) : Education
- M.Ed. : Master of Education (PS) : Primary School (SS) : Secondary School
- M.Phil. : Master of Philosophy
- Ed.D. : Doctor of Education
- Ph.D. : Doctor of Philosophy

4. Subjects

- (C) : Compulsory Subjects
- (E) : Elective Subjects
- Ab : Arabic
- Ac : Accounts
- AC : Art and Craft
- Ah : Ahadis (Islamic Subject)
- AT : Automobile Technology
- Bc : Biochemistry
- Bi : Biology
- Bo : Botany
- Ch : Chemistry
- Cv : Civics
- Ec : Economics
- EI : Electricity
- En : English
- Es : Electronics
- Fq : Fiqa (Islamic Subject)
- GM : General Mathematics
- GS : General Science
- HE : History of Education
- HP : Health & Physical Education
- Hs : Histroy
- Is : Islamia
- Ko : Koran (Islamic Subject)
- Lw : Law
- Ma : Mathematics
- MA : Mathematics-A
- MB : Mathematics-B
- Mc : Mechanics
- Mk : Marketing Study
- Mw : Metalwork
- OR : Office Record
- Pa : Pashto
- Pe : Persian
- PE : Principle of Education
- Pg : Physiology
- Ph : Physics
- Po : Political Science
- Ps : Psychology
- PS : Pakistan Study (Social Study)
- SA : School Administration
- Sc : Science
- Sh : Shorthand
- St : Statistics
- Ur : Urdo
- Ww : Woodwork
- Zo : Zoology

3. Schools

- PS : Primary School
- MS : Middle School
- HS : High School
- HSS : Higer Secondary School
- IC : Intermediate College
- CHE : College for Home Economics (In Peshawar University)
- CC : Commerce College
- DC : Degree College
- PGC : Post Graduate College
- UV : University
- CET : College for Elementary Teachers
- DU : Darululum (Religious College)
- PI : Polytechnic Institute
- ATC : Agrotechnical College
- PEC : Physical Education College
- IER : Institute of Education and Research

*Remark : The above data were collected from Deputy Director, Diretorate of Primary Education, N.W.F.P.

9. 供与すべき施設の内容検討

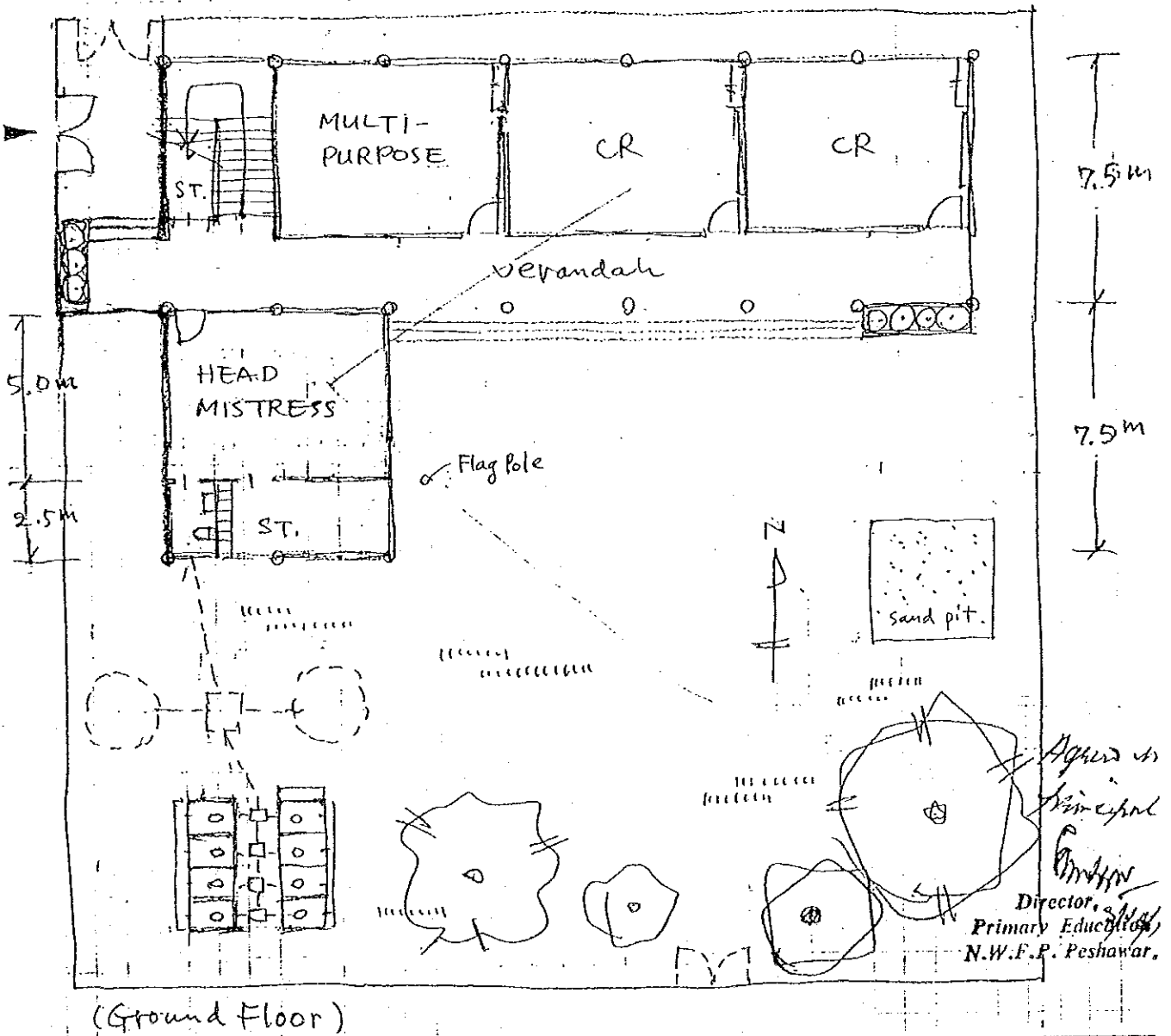
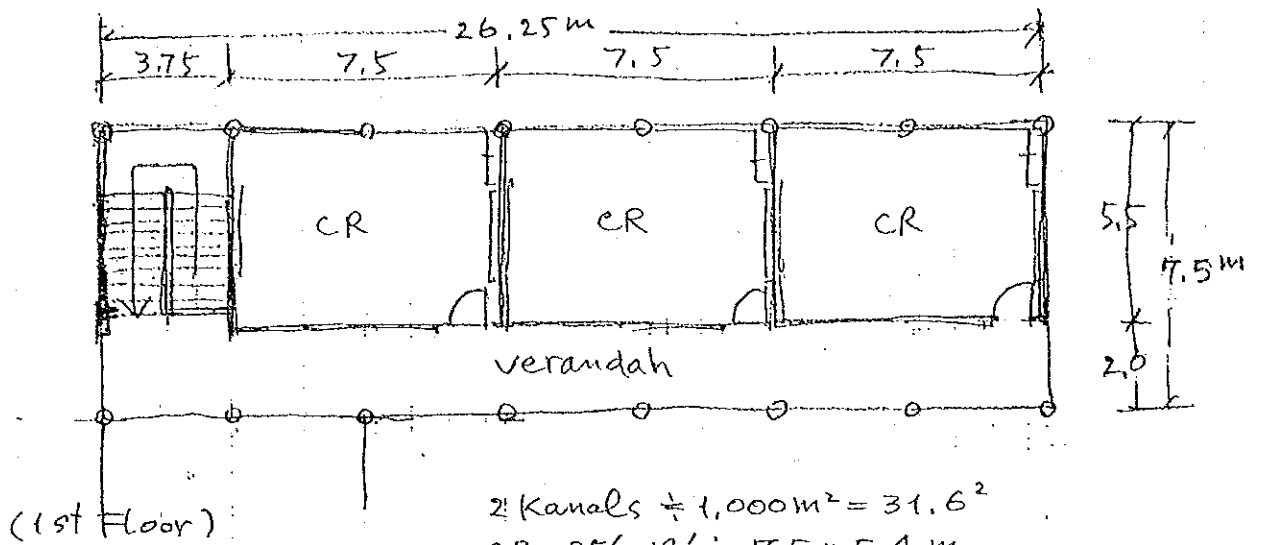
小学校用地の広さについては2 Kanal(約 1,000m²)が標準とされており、寄贈の場合もこの辺が限界のようである。2 Kanalは学校用地としては決して広くはなく、要請の5教室では2階建にせざるを得ない。

要請書の附図と既存校の状況を参考にして別図の素案を作成し、基本的な合意を得た。すなわち、5教室の他に同じ大きさの多目的室を設け、教員の休憩、図書室、予備の家具置場などの他、Kachi-classにも必要に応じ利用できるものとする。生徒用の家具については、既存校では色々なタイプのものがあったが、配列の自由度を考慮して1人用机+1人用椅子(一体化していない)で計画するよう考えている。その他の家具についても堅牢で使用の実態にあった単純なものとする方針で、先方の要望を聞いて素案を作成した(別表参照)。

また、特に女子生徒への配慮として外部から覗かれないように塀は高くし(最低2m)、2階のベランダの手すりも高くかつ目かくしとなるよう工夫する。2階建とすることによって階段が必要となり、建設コストは直接工事費で約20%高くなり、工期は平屋建約7ヶ月が約8ヶ月となる。

便所をどのようにするかは、既存校を見ても関係者に聞いたところでも大きな問題で、メンテナンス、掃除、環境問題が課題である。児童用はアジア式でロータンクを設けず手桶による水洗式とし、掃除夫(一般には配備されないが本計画では予定している)が毎日更に洗い流すのが良いかと考えている。また排水の処理は浸透ますによるのが他の研究者によっても推奨され、この案もそうしているが、敷地内に井戸を掘る場合は衛生上の懸念も生じる。

本計画の場合、上記のように外部から覗かれぬための配慮と便所の整備は女生徒を安心して学校に行かせるのに不可欠の事項と考えられている一方、このための予算は教育部門の所掌ではなく確保しにくいので、門・塀と敷地への水供給(必要な場合は井戸)も供与の内容に含めることとしたい。

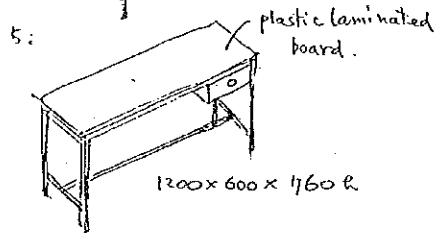
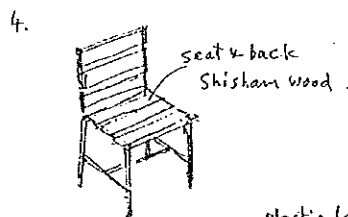
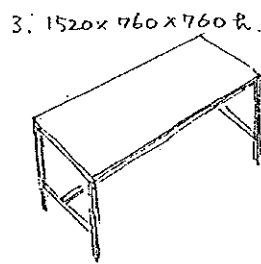
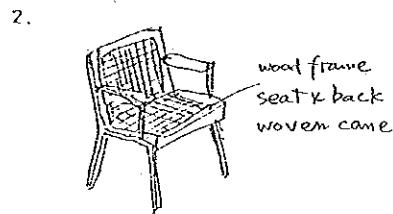
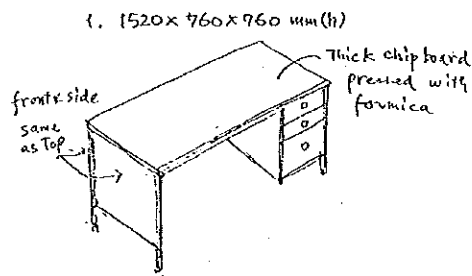


別表

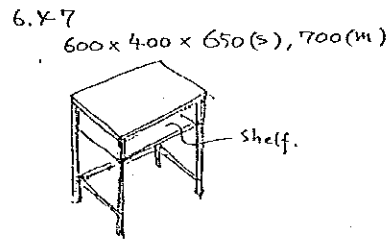
モデル校の家具計画案

1. 校長用机	1	8. 生徒用椅子 (小)	100
2. 事務椅子	5	9. " (中)	150
3. 教員用テーブル	6	10. 背なし小椅子	10
4. " 椅子	15	11. 教員用ロッカー	2
5. " 教室卓	6	12. スチール戸棚	2
6. 生徒用机 (小)	100	13. スチール書類引出し	2
7. " (中)	150		

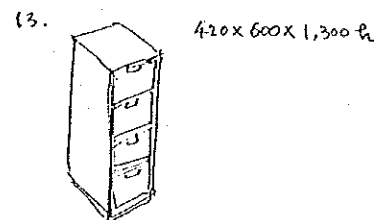
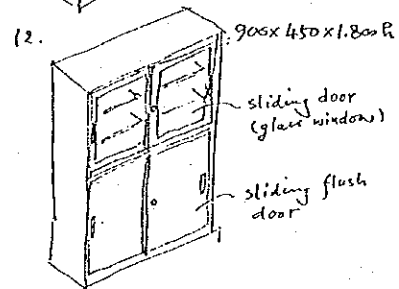
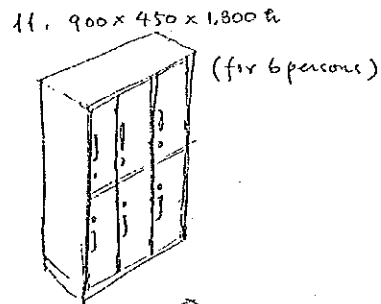
Rough sketch for Furniture



- approx. dimension.
- all metal footing with plastic bottom tip.



8. & 9.
same as 4. (S, M)



10. 建設候補地の選定

(1) 選定方法とその基準

建設候補地の選定については最終的には以下の方法によることにした。

- ステップ1：地区別の優先順位を確定する
- ステップ2：優先度の高い地区の中から順に建設に必要な諸条件を満たす候補地を選択してゆく

また各ステップでの選択基準として以下を採用した：

(ステップ1)

- 未就学率の高い地区を優先する
- 学校施設（教室数）の不足している地区を優先する
- 教育に熱心な地区を優先する

(ステップ2)

- 通学区域内の未就学児童数が計画校の収容人員を上回る候補地のみを対象とする
 - 候補地へのアクセスが極めて困難なサイトは候補対象からはずす
 - 用地の利用が確実な官有地を最優先する
 - 地主が無償供与する用地については宣誓書が確保されている事を条件とする
 - 商用電源、給水等施設環境条件が整備された候補地を優先する
- 以下にそれぞれのステップの検討結果の概要を記す。

(2) 地区別優先順位の確定

ステップ1の選択基準を裏付けるものとして以下のデータを取得した：

- ① 未就学率
- ② 不足教室数
- ③ 1教室あたりの生徒数
- ④ 教師1人あたりの生徒数

上記の①及び②はそれぞれ直接的なデータであるが、③は施設面の不足と教育に関する関心度を複合的に裏付けるデータといえる。既存校の小学校教員（P.T.C.）については、その質はともかく数量的には各地区とも充足されていることから、④はその地区における教育の関心度を示すデータとして採用する。上記の①～④の各項目毎に相対的な順位点をつけ、総合点の高いものから順に整理したものが表-5で、その優先度はベシャワールが最も高く、続いてスワット、マルダン、ハリプール、マンセラという順になっている。

Priority	District	Data on School Aged Children and Students			Data on Classrooms and Teachers			Priority Criteria and the Points				
		Nos. of Children	Nos. of Students	Nos. of Unenrolled Students	Required Nos. of Classrooms	Existing Nos. of Classrooms	Existing Nos. of Teachers	Uneducated Ratio of Children	Necessary Nos. of Classrooms	Nos. of Students Per Classroom	Nos. of Students Per Teacher	Points
		A	B	C=A-B	D=A/40	E	F	C/A	D-E	B/E	B/F	
1	Peshawar	M : 132,412 F : 124,472 (T) : 256,884	M : 93,937 F : 35,951 (T) : 129,888	M : 38,475 F : 88,521 (T) : 126,996	M : 3,310 F : 3,112 (T) : 6,422	M : 1,606 F : 781 (T) : 2,387	M : 2,559 F : 1,050 (T) : 3,609	49.4% (8)	4,035 (20)	54.4 (20)	36.0 (20)	68
2	Swat	M : 129,368 F : 120,549 (T) : 249,917	M : 83,478 F : 28,681 (T) : 112,159	M : 45,890 F : 91,868 (T) : 137,758	M : 3,234 F : 3,014 (T) : 6,248	M : 1,843 F : 675 (T) : 2,518	M : 3,376 F : 850 (T) : 4,226	55.1% (11)	3,730 (18)	44.5 (19)	26.5 (11)	59
3	Mardan	M : 110,781 F : 104,030 (T) : 214,811	M : 71,971 F : 31,869 (T) : 103,840	M : 38,810 F : 72,161 (T) : 110,971	M : 2,770 F : 2,601 (T) : 5,371	M : 1,941 F : 871 (T) : 2,812	M : 2,366 F : 1,014 (T) : 3,380	51.7% (9)	2,559 (15)	36.9 (12)	30.7 (17)	53
4	Haripur	M : 61,449 F : 58,351 (T) : 119,800	M : 38,284 F : 26,946 (T) : 65,230	M : 23,165 F : 31,405 (T) : 54,570	M : 1,536 F : 1,459 (T) : 2,995	M : 1,078 F : 397 (T) : 1,475	M : 1,482 F : 614 (T) : 2,096	45.6% (5)	1,520 (10)	44.2 (18)	31.1 (19)	52
5	Mansehra	M : 154,009 F : 135,557 (T) : 289,566	M : 71,843 F : 31,932 (T) : 103,775	M : 82,166 F : 103,625 (T) : 185,791	M : 3,850 F : 3,389 (T) : 7,239	M : 2,376 F : 978 (T) : 3,354	M : 3,437 F : 1,162 (T) : 4,599	64.2% (17)	3,885 (19)	30.9 (7)	22.6 (9)	52
6	Kohistan	M : 71,010 F : 49,511 (T) : 120,521	M : 10,219 F : 389 (T) : 10,608	M : 60,791 F : 49,122 (T) : 109,913	M : 1,775 F : 1,238 (T) : 3,013	M : 192 F : 76 (T) : 268	M : 822 F : 65 (T) : 887	91.2% (20)	2,745 (17)	39.6 (14)	12.0 (1)	52
7	Buner	M : 35,904 F : 33,198 (T) : 69,102	M : 24,936 F : 6,031 (T) : 30,967	M : 10,968 F : 27,167 (T) : 38,135	M : 898 F : 830 (T) : 1,728	M : 558 F : 181 (T) : 739	M : 996 F : 119 (T) : 1,115	55.2% (12)	989 (8)	41.9 (16)	27.8 (13)	49
8	Abbottabad	M : 83,214 F : 78,190 (T) : 161,404	M : 55,790 F : 39,567 (T) : 95,357	M : 27,424 F : 38,623 (T) : 66,074	M : 2,080 F : 1,955 (T) : 4,035	M : 1,593 F : 721 (T) : 2,314	M : 2,194 F : 983 (T) : 3,177	40.9% (3)	1,721 (13)	41.2 (15)	30.0 (16)	47
9	Nowshera	M : 68,426 F : 64,020 (T) : 132,446	M : 48,108 F : 21,886 (T) : 69,994	M : 20,313 F : 42,134 (T) : 62,452	M : 1,711 F : 1,601 (T) : 3,312	M : 1,172 F : 460 (T) : 1,632	M : 1,931 F : 602 (T) : 2,533	47.2% (6)	1,680 (12)	42.9 (17)	27.6 (12)	47
10	Dir	M : 101,550 F : 101,088 (T) : 202,638	M : 63,214 F : 18,869 (T) : 82,083	M : 38,336 F : 82,219 (T) : 120,555	M : 2,539 F : 2,527 (T) : 5,066	M : 1,890 F : 547 (T) : 2,437	M : 3,011 F : 677 (T) : 3,688	59.5% (15)	2,629 (16)	33.7 (8)	22.3 (8)	47

* Legend : M, F, and (T) in the above table mean Male, Female, and Total, respectively.

* Remarks : 1. Source of the above data is as follows;

- Data, 'A' : 'DISTRICT-WISE PROJECTED POPULATION OF N.W.F.P., AGE GROUP 5-9 YEARS', Prepared by System Analyst, Education Department, N.W.F.P.

- Data, 'B', 'E' and 'F' : 'Education Management Information System (EMIS) Research', Development & Evaluation Wing, Directorate of Primary Education, N.W.F.P.

2. Data 'D' is set up as the standard classroom contains forty (40) numbers of students.

3. Points in each criterion are provisional relative points to decide the district-wise priority.

Priority	District	Data on School Aged Children and Students			Data on Classrooms and Teachers			Priority Criteria and the Points				
		Nos. of Children	Nos. of Students	Nos. of Unenrolled Students	Required Nos. of Classrooms	Existing Nos. of Classrooms	Existing Nos. of Teachers	Uneducated Ratio of Children	Necessary Nos. of Classrooms	Nos. of Students Per Classroom	Nos. of Students Per Teacher	Points
		A	B	C=A-B	D=A/40	E	F	C/A	D-E	B/E	B/F	
11	Swabi	M : 78,428 F : 73,420 (T) : 151,848	M : 53,952 F : 24,700 (T) : 78,652	M : 24,476 F : 48,720 (T) : 73,196	M : 1,961 F : 1,836 (T) : 3,797	M : 1,573 F : 654 (T) : 2,227	M : 1,835 F : 694 (T) : 2,529	48.2% (7)	1,570 (11)	35.3 (10)	31.1 (18)	46
12	Charsadda	M : 78,154 F : 74,230 (T) : 152,384	M : 50,809 F : 16,820 (T) : 67,629	M : 27,345 F : 57,410 (T) : 84,755	M : 1,954 F : 1,856 (T) : 3,810	M : 1,294 F : 544 (T) : 1,838	M : 2,361 F : 686 (T) : 3,047	55.6% (13)	1,972 (14)	36.8 (11)	22.2 (7)	45
13	Bannu	M : 57,183 F : 53,376 (T) : 110,559	M : 27,813 F : 8,833 (T) : 36,646	M : 29,370 F : 44,543 (T) : 73,913	M : 1,430 F : 1,334 (T) : 2,764	M : 1,077 F : 543 (T) : 1,620	M : 1,298 F : 554 (T) : 1,852	66.9% (19)	1,114 (9)	22.6 (4)	19.8 (4)	36
14	Malakand Ag.	M : 34,473 F : 32,951 (T) : 67,424	M : 25,573 F : 14,365 (T) : 39,938	M : 8,900 F : 18,586 (T) : 27,486	M : 862 F : 824 (T) : 1,686	M : 656 F : 370 (T) : 1,026	M : 990 F : 418 (T) : 1,408	40.8% (2)	660 (5)	38.9 (13)	28.4 (14)	34
15	Kohat	M : 56,422 F : 54,029 (T) : 110,451	M : 51,910 F : 18,931 (T) : 70,841	M : 4,512 F : 35,098 (T) : 39,610	M : 1,411 F : 1,351 (T) : 2,762	M : 1,490 F : 552 (T) : 2,042	M : 1,802 F : 623 (T) : 2,425	35.9% (1)	720 (6)	34.7 (9)	29.2 (15)	31
16	D. I. Khan	M : 63,216 F : 58,550 (T) : 121,766	M : 32,633 F : 13,329 (T) : 45,962	M : 30,583 F : 45,221 (T) : 75,804	M : 1,580 F : 1,464 (T) : 3,044	M : 1,398 F : 679 (T) : 2,077	M : 1,682 F : 738 (T) : 2,420	62.3% (16)	967 (7)	22.1 (3)	19.0 (2)	28
17	Tank	M : 18,850 F : 17,795 (T) : 36,645	M : 10,384 F : 2,432 (T) : 12,816	M : 8,466 F : 15,363 (T) : 23,829	M : 471 F : 445 (T) : 916	M : 427 F : 179 (T) : 606	M : 455 F : 179 (T) : 634	65.0% (18)	310 (2)	21.1 (2)	20.2 (5)	27
18	Karak	M : 37,643 F : 36,020 (T) : 73,663	M : 28,112 F : 12,442 (T) : 40,554	M : 9,531 F : 23,578 (T) : 33,109	M : 941 F : 901 (T) : 1,842	M : 944 F : 374 (T) : 1,318	M : 1,146 F : 449 (T) : 1,595	44.9% (4)	524 (4)	30.8 (6)	25.4 (10)	24
19	Chitral	M : 22,831 F : 23,588 (T) : 46,419	M : 15,612 F : 5,873 (T) : 21,485	M : 7,219 F : 17,715 (T) : 24,934	M : 571 F : 590 (T) : 1,161	M : 584 F : 173 (T) : 757	M : 819 F : 198 (T) : 1,017	53.7% (10)	404 (3)	28.4 (5)	21.1 (6)	24
20	Lakki	M : 34,318 F : 32,239 (T) : 66,557	M : 22,557 F : 4,722 (T) : 27,279	M : 11,761 F : 27,517 (T) : 39,278	M : 858 F : 806 (T) : 1,664	M : 1,107 F : 299 (T) : 1,406	M : 1,095 F : 303 (T) : 1,398	59.0% (14)	258 (1)	19.4 (1)	19.5 (3)	19

* Legend : M, F, and (T) in the above table mean Male, Female, and Total, respectively.

* Remarks : 1. Source of the above data is as follows;

- Data, 'A' : 'DISTRICT-WISE PROJECTED POPULATION OF N.W.F.P., AGE GROUP 5-9 YEARS', Prepared by System Analyst, Education Department, N.W.F.P.

- Data, 'B', 'E' and 'F' : 'Education Management Information System (EMIS) Research', Development & Evaluation Wing, Directorate of Primary Education, N.W.F.P.

2. Data 'D' is set up as the standard classroom contains forty (40) numbers of students.

3. Points in each criterion are provisional relative points to decide the district-wise priority.

表-5から推測される状況について、いくつかの地区について検証を行ってみる。

1) ペシャワール

私立の小学校のデータが反映されていないため、未就学率 49.4 %は実際よりも高いものとなっていると思われる。しかし、不足教室数、1教室あたりの生徒数及び教師1人あたりの生徒数のいずれも20地区の中では最高であり、やはり優先度の最も高い地区であることが確認できる。

2) コヒスタン

未就学率は 91.2 %と20地区の中では最高値を示しているにもかかわらず、教師1人あたりの生徒数は最低の 12.0 人となっている。これは明らかに同地区の教育に対する関心度の低さを示すものといつてよいであろう。6位という高ランクに位置しているが、これはこの地域の教育環境を根本的に見直さなければならぬという警鐘を示すものであって、直ちに施設の拡充が急がれるという状況を示すものではない。初等教育部が本地区を対象からはずしたのは妥当な判断といえる。

3) アボタバード・スワット

アボタバードは未就学率が相対的に低く、その他の項目ではいずれも平均的に高いポイントを得ている。ペシャワール大学の B.Ed.及び M.Ed.コースの学生が多いことから見ても、かなり教育に対する関心の高い地区と言える。2位にランクされたスワットも同じことが言え、初等教育部がスワット要請校数をペシャワールの7校につぐ5校としている理由も推し量れる。

4) コハット・ディーアイカーン・カラク

コハットは就学率の最も高い地区となっている。教育に対する関心度は20地区中最も高いわけであるが、施設の不足数が相対的に低く、緊急度は低いと判断される。ディーアイカーンは1教室あたりの生徒数及び教師1人あたりの生徒数が共にかなり低いことから、教育に関心が高い地区ではあるものの、施設及び教師は余りぎみであることが知れる。カラクも同様のことが言える。

(3) サイト別建設環境条件の確認

ステップ2の選定基準の全てを網羅し、要請のあった70の建設候補地及び変更追加された16候補地について10月25日現在のデータを整理したものを次頁の表-6に示す。優先度の高い地区から順に、建設諸条件の整った候補地を拾いあげると、現時点では以下の27サイトとなる。

(地区名)	(サイト名)
ペシャワール	1. Hayat Abad Phase-1
	2. Hayat Abad Phase-3
	3. Gulbela
	4. Budhni
マルダン	5. Gumbat
	6. Karim Abad
	7. Fathma
	8. Baghicha Dheri
ハリプール	9. K.T. Ship No. 2 Sector
マンセラ	10. Phulra
アボタバード	11. Damthour
ノーシェラ	12. Taru Jabba
ディール	13. Jalozai
	14. Mughulki
	15. Khashiki Payan
	16. Talash
スワビ	17. Topi
	18. Lahore
	19. Adina
	20. Bachai Dagi
チャルサダ	21. New Turlandi
	22. Mera Umar Zai
	23. Abdul Ali Killi
コハット	24. Ganjiano Killa
ディーアイカーン	25. Line Police
	26. Pahar Pur T/Committee
	27. Town Committee Kulachi

最終的なサイトの確定は、10月末時点での初等教育部からの土地取得状況報告を待って確定することとする。優先度の高い地区の残りのサイトの拾い上げが可能となった場合、上記のサイトの脱落も十分あり得る。

建設候補地データシート

Sheet No. 1/4

District	No.	Name of the Proposed School (Name of Village)	Exst. or New Site	Population in the Catchment Area	Population of Age Group (5-9) Years		Total Enrolment in the Area	Nos. of Unenrolled Childrn. in the Area	Distance to the Nearest School	Status on Land Acqtn.	Site Conditions			Status on Sictn.	Remarks
					Male	Female					AC	PW	WT		
1. Peshawar	1	Hayat Abad Phase-1	New	81,687	6,943	6,129	667	12,403	1.5 km	◎	○	L	C		
	2	Hayat Abad Phase-3	New							◎	○	L	C		
	3	Babu Zai (Shah Alam)	New							△	△	L	W		
	4	Gulbela	Exst.							◎	△	L	W		
	5	Masho Kheil	New							△	○	L	W		
	6	Budhni	New							◎	○	L	W		
	7	Jhagra	New							△	△	L	W		
2. Nowshera	1	Taru Jabba	New	20,000	1,700	1,500	2,560	640	2.0 km	◎	○	L	W		
	2	Jalozai	Exst.	22,000	1,870	1,650	2,810	710	in site	◎	○	L	C		
	3	Mughulki	Exst.	15,000	1,275	1,125	1,910	490	in site	◎	○	H	W		
	4	Khashiki Payan	Exst.	45,000	3,825	3,375	6,520	680	in site	◎	○	L	W		
3. Charsadda	1	New Turlandi	New	4,000	340	300	320	320	2.0 km	○	○	L	W		
	2	Shaki Kulali (Navi Killi)	New	5,000	425	375	300	500	3.0 km	△	○	L	W	Proposed Site Changed	
	3	Mera Umar Zai	New	5,000	425	375	450	350	3.0 km	○	○	L	W		
	4	Abdul Ali Killi	New	5,000	425	375	430	370	3.0 km	○	○	L	W		
		Haji Dost Mohammad Killi	New											Data Insufficient	
4. Mardan	1	Rustam	New	8,000	680	600	500	780	1.5 km	△	●	L	W		
	2	Gumbat	New	7,000	595	525	359	761	1.5 km	○	△	L	C		
	3	Karim Abad	New	8,000	680	600	400	880	1.5 km	○	△	L	W		
	4	Fathma	New	7,000	595	525	600	520	1.5 km	○	○	H	W		
	5	Baghicha Dheri	New	7,000	595	525	569	551	1.5 km	○	●	L	C		

* Legend: 1. Status on Land Acquisition

- ◎ --- Good (Reserved Government Land)
 ○ --- Not Bad (The affidavit already obtained from the landowner.)
 △ --- Not Good (Only verbal consent obtained from the landowner.)

2. Site Conditions

- AC: Accessibility to the Site
 ○ --- Good or Not Bad
 △ --- Not Good but Accessible
 ● --- Very Bad
- WT: Availability of Water
 C: City water is available near the site.
 W: City water is not available near the site, so boring for well water or extension of pipe line from the nearest well, is required.
- PW: Availability of Electricity
 H: High voltage lines are available near the site, but the transformer is newly required.
 L: Low voltage lines are available near the site.

建設候補地データシート

Sheet No. 2/4

District	No.	Name of the Proposed School (Name of Village)	Exst. or New Site	Population in the Catchment Area	Population of Age Group (5-9) Years		Total Enrolment in the Area	Nos. of Unenrolled Childrn. in the Area	Distance to the Nearest School	Status on Land Acqtn.	Site Conditions			Status on Slctn.	Remarks
					Male	Female					AC	PW	WT		
5. Swabi	1	Topi	Exst.	35,000	2,975	2,625	5,090	510	in site	⊙	○	L	W		
	2	Lahor	Exst.	25,000	2,125	1,875	2,225	495	0.1 km	⊙	○	L	C		
	3	Adina	New	20,000	1,700	1,500	2,720	480	1.7 km	⊙	○	H	W		
	4	Bachai Dagi	New	20,000	1,700	1,500	2,750	450	3.0 km	⊙	△	L	W		
6. Kohat	1	Tough Piyan	New	5,000	425	375	200	600	1.5 km	△	△	L	W		
	2	Chargarri	New	3,000	255	225	175	305	2.0 km	△	○	H	W		
	3	Mohammad Khawaja	New	6,000	510	450	212	748	2.0 km	△	●	H	W		
	4	Ganjiano Killa	New	6,000	510	450	590	370	2.0 km	⊙	○	L	W		
7. Karak	1	Town Committee	New	20,000	1,700	1,500	1,820	1,380	2.0 km	△	○	H	W		
	2	Khad Banda	New	6,000	510	450	280	680	2.0 km	△	●	L	W		
	3	Tatarkhel	New	8,000	680	600	370	910		△	●	L	W		
8. Abbotabad	1	Damthour	New	8,000	680	600	850	430	0.2 km	⊙	○	L	C		
	2	Mirpur	New	10,000	850	750	1,080	520	0.5 km	△	△	L	C		
	3	Bandi Dhondian		8,000	680	600	700	580	1.0 km					Proposed Site Changed	
	4	Juna Chamhatti		6,000	510	450	590	370	0.5 km					Proposed Site Changed	
		Bandi Attai Khan	New							△	△	H	W	Data Insufficient	
		Civil Officer Colony	New							⊙	△	H	C	Data Insufficient	
9. Haripur	1	Pircot		6,000	510	450	590	370	2.0 km					Proposed Site Changed	
	2	Tippra	New	10,000	850	750	1,080	540	2.0 km	△	●	H	W		
	3	Bijian	New	8,000	680	600	700	580	1.0 km	△	△	L	C		
	4	K.T.Ship No.2 Sector	Exst.	6,000	510	450	590	370	1.0 km	⊙	○	L	C		
		Mohallah Khoo	New							⊙	○	L	C	Data Insufficient	

建設候補地データシート

Sheet No. 3/4

District	No.	Name of the Proposed School (Name of Village)	Exst. or New Site	Population in the Catchment Area	Population of Age Group (5-9) Years		Total Enrolment in the Area	Nos. of Unenroled Childrn. in the Area	Distance to the Nearest School	Status on Land Acqtn.	Site Conditions			Status on Slctn.	Remarks
					Male	Female					AC	PW	WT		
10. Manshra	1	Karkala		8,000	680	600	980	300	2.0 km						Report under Preparation
	2	Phulra	New	6,000	510	450	710	250	3.0 km	○	△	H	C		
	3	Bisian		6,000	510	450	710	250	2.0 km						Proposed Site Changed
	4	Hamid Abad Battal	New	5,000	425	375	525	275	2.0 km	○	○	L	C		Data Insufficient
11. Battagram	1	Polabela	New	6,000	510	450	700	260	3.0 km	△	△	L	C		
	2	Kurwal Dab		5,000	425	375	535	265	2.0 km						Report under Preparation
12. Bannu	1	Amir Khan Nurur	New	12,000	1,020	900	380	1,580	1.5 km	△	○	L	C		
	2	Bazida Surrani		1,500	1,275	1,125	600	1,800	1.5 km						Proposed Site Changed
	3	Azmaikilg Noor Aslam		7,000	595	525	428	692	1.5 km						Proposed Site Changed
	4	Kakki Khass Kifayaiullah	New	15,000	1,275	1,125	500	1,900	1.5 km	△	○	L	W		
		Kotka Shar Zaman	New							△	○	L	C		Data Insufficient
		Azmat Killa Noor Aslam	New							△	○	L	C		Data Insufficient
	Kotka Safur Rehman	New							△	△	L	W		Data Insufficient	
13. Lakki	1	Begu Khel	New	9,000	765	675	480	960	1.5 km	△	○	H	W		
	2	Ghgrni Khel		12,000	1,020	900	400	1,520	1.5 km						Proposed Site Changed
		Doulat Taja Zai	New							△	○	L	C		Data Insufficient
		Nar Mandi Malan	New							△	△	H	W		Data Insufficient
14. D. I. Khan	1	Line Police	New	8,000	680	600	260	1,020	1.0 km	◎	○	L	C		
	2	Pahar Pur T/Committee	New	12,000	1,020	900	1,200	720	1.0 km	◎	○	H	C		
	3	Basti Saeed Abad	New	3,000	255	225	165	315	2.0 km	△	○	L	W		
	4	Town Committee Kulachi	New	21,000	1,785	1,575	2,000	1,360	1.0 km	◎	○	L	C		
15. Tank	1	Gomal Bazar	New	8,000	680	600	535	745	1.5 km	△	○	L	W		Kareez Water System
	2	Aslam Abad (Amakhel)	New	5,000	425	375	360	440	1.0 km	△	○	L	W		

建設候補地データシート

Sheet No. 4/4

District	No.	Name of the Proposed School (Name of Village)	Exst. or New Site	Population in the Catchment Area	Population of Age Group (5-9) Years		Total Enrolment in the Area	Nos. of Unenroled Childrn. in the Area	Distance to the Nearest School	Status on Land Acqtn.	Site Conditions			Status on Sictn.	Remarks
					Male	Female					AC	PW	WT		
16. Dir	1	Hayasari	New	5,766	490	431	544	377	2.0 km	△	○	L	W		
	2	Lal Qila	New	13,317	1,131	999	1,864	266	1.5 km	△	△	H	W		
	3	Munda	New	6,851	582	514	713	383	2.0 km	△	○	L	C		
	4	Talash	New	9,870	929	650	1,319	260	0.5 km	○	△	H	W		
17. Swat	1	Gujar Tangay		3,000	255	225	230	250	2.5 km					Proposed Site Changed	
	2	Faqir Abad		2,500	212	188	130	270	2.5 km					Proposed Site Changed	
	3	Qazi Abad		3,500	298	262	300	260	3.0 km					Proposed Site Changed	
	4	Chail		2,300	196	172	150	218	3.0 km					Proposed Site Changed	
	5	Gogdara		4,000	340	300	335	305	2.0 km	△	○	H	W		
		Kabal	Exst.							◎	○	H	W	Data Insufficient	
		Khuaza Khela	New							△	△	H	W	Data Insufficient	
		Matta	Exst.							◎	○	L	W	Data Insufficient	
	Odegram	Exst.							◎	△	L	C	Data Insufficient		
18. Bunir	1	Agarai	New	8,000	680	600	350	930	0.5 km	△	△	L	W		
	2	Daggar Qila	New	5,000	425	375	330	470	3.0 km	△	△	L	W		
19. Malakand	1	Niamat Abad (Koper)		2,400	204	180	125	259	3.0 km					Proposed Site Changed	
	2	Qadam Khela		3,000	255	225	180	300	3.0 km					Proposed Site Changed	
		Meherdi	New							△	○	H	W	Data Insufficient	
		Mohammad Gul Korona	New							△	△	L	W	Data Insufficient	

* Legend: 1. Status on Land Acquisition

- ◎ --- Good (Reserved Government Land)
- --- Not Bad (The affidavit already obtained from the landowner.)
- △ --- Not Good (Only verbal consent obtained from the landowner.)

2. Site Conditions

- AC: Accessibility to the Site
- WT: Availability of Water
- --- Good or Not Bad
- △ --- Not Good but Accessible
- --- Very Bad
- C: City water is available near the site.
- W: City water is not available near the site, so boring for well water or extention of pipe line from the nearest well, is required.
- PW: Availability of Electricity
- H: High voltage lines are available near the site, but the transformer is newly required.
- L: Low voltage lines are available near the site.

11. 第2次調査関連事項

小学校用の教材については、現在国立教材センター（在ラホール）で開発した Primary Teaching Kit が配布されているが、見聞したところではほとんど利用されていない模様である。N W F P 初等教育部の中に教材開発センター（Instruction Material Development Centre）があり、U S A I D の支援によって教科書を初めとする教材の開発を行い、N W F P 内の 600 の実験校で使用し、4 年間に亘って改良作業を行っている。スワット地区では実際にその教材を用いた授業も参観した。I M D C で現在までに開発した教材は以下のとおりである。

1. 教科書及び教員用ガイドブック

Kachi	算数、理科
C L 1	（ウルドゥ語、パシュトゥ語）言語、理科、社会
C L 2	同上 + イスラム学
C L 3～5	（計画中）

2. 英語カセット 120本（C L 3）

3. 壁掛表 ウルドゥ語、パシュトゥ語、算数

4. アルファベットと数字の学習用積木

5. パキスタン地図（掛図、1×1.5 m）

今回日本への要請は理数科教材が中心となっており、上記との重複はほとんどないと考えられるが、教材の供与には教科内容の把握と教員用ガイドが必要であり、その意味でまずソフト面から入って行くという I M D C での開発の方法はまことに示唆に富むものであった。

教材計画のもととなるカリキュラムは教育省の教程教科書局（National Bureau of Curriculum and Textbooks）で作られ、1973年に制定されたものが今も生きており、教科別時間配分は次表のようになっている。

教科別時限数(週)

	CL 1, CL 2		CL 3		CL 4, CL 5	
	時限数	%	時限数	%	時限数	%
第1言語	12	30.7	6	15.3	6	15.3
第2言語(英語)	-	-	6	15.3	6	15.3
算数	6	15.0	6	15.3	6	15.3
理科	} 5	12.3	6	15.3	5	12.3
社会			3	7.69	4	9.23
保健体育	5	12.3	3	7.69	4	9.23
イスラム教	6	15.3	6	15.3	6	15.3
図工	5	12.3	3	7.69	3	7.69
計	39		39		39	

(注) 1時限は各40分、1日は7時限(木曜日は4時限、金曜日休み)、夏は午前7時～午後1時、冬はそれより各30分遅れとするのが一般的である。

女子教員養成校については、今回予備調査の意味でアボタバードにある教育課程開発部を訪問した。現時点では建設場所はアボタバードと考えているが用地が確定しておらず、12月の第2次現地調査までに確定しておくよう要望した。

教員養成校の現状は下表のとおりで、工事中のものは同一プラン(各約6,600m²)で、公共事業局が担当している。本計画もそれらと同規模のものを構想している。

教員養成校の現状

	女子校	男子校
既存	マンセラ ベシャワール(2校) マラカンド スワット コハット D Iカーン 計7校	ハリプール、 マラカンド、 スワット、チトラール、 ベシャワール(3校) コハット、カラク、 バンヌ、D Iカーン 計11校
工事中	マルダン、ノーシェラ、 カラク (USAID)、 チャルサダ (GTZ)	ディール (USAID)、 スワビ (ADB)

女子教員養成校の概要

(マルダンに建設中のもの、学生数 200人、本計画も同規模の構想である)

校舎 (平屋建、講義室・実験室10室、 講堂、管理諸室など)	1,800 m ²	
学生寮 (200人)	} 2階建	3,900
教員宿泊室 (12人)		
職員宿舎 (10戸)	820	
車庫・守衛舎	80	
合計	約 6,600 m ²	

12. WIDの視点からの報告

<WID配慮調査の背景>

NWFPにおける男女の初等教育の就学率を現在の男子1,282千人(77.5%)、女子508千人(38.2%)から1999年までに政府目標の男子1,422千人(99%)、女子951千人(70%)にひきあげるためには、女子生徒や女子教員への特別の配慮が初等教育向上のための重要な戦略となってくる。ゆえに今回の調査にはこの点をふまえ、小学校の女子教員、女子教員養成校の校長、教官や学生からの意見や、各省庁やドナー機関のとっている戦略についての事情聴取にあたった。

<現場視察からの報告>

ベシャワール近郊(都市部)、スワット近郊(農村部)の男女それぞれの小学校、教員養成校を視察し、校長、教員、指導教官、学生からの意見聴取を行い、女子就学率を困難にしている要因について以下の結果を得た。これを是正する戦略及び補足説明を以下に記す。

女子就学率を困難にしている要因・WID配慮

1 経済的、社会文化的要因

貧困、バルダという女性に課せられたイスラム社会規制により、両親(特に家族長である父親)は女子の就学に無理解である。教科書、制服代を払う経済的ゆとりのない家庭では、むしろ女子労働を家事、子守、農作業に使っている。そのため、女子のドロップ・アウト率が著しい。ゆえに、女子の就学率をあげることの一貫として、教科書、制服等を支給するなどして家庭の経済的負担を軽くすることを望んでいる。

=> UNICEF,WFP(World Food Program)等の他ドナーと協力して、一定以上の通学をしたら食料を支給したり、栄養、保健、料理・裁縫等の家庭科等、生活に密着した教科または現金収入につながるような教科を午前中に教え、午後に読み書き・算数等を教えるなどして、女子生徒の就学への動機付けをはかる。

2 女子への配慮を欠いた学校建築

境界壁がなく外から中の様子が丸見えで、女子生徒が授業に集中できず、また、女子教員も心理的に落ち着かない。(訪問したスワット地区の女子小学校では、一部の壁がなく外から見えるため、何度も政府に壁を作るように養成しているがききいれられず、困っているとのことであった。)また、このために女子を通学させない家庭も多い。

=> 女子の就学率、女子教員の確保のためには、学校敷地を2m以上の高さの境界壁で囲むことは不可欠である。

3 女子への配慮を欠いた学校設備

飲料水がない、トイレがうまく機能していないと、生徒はわざわざ家まで帰らなければならないし、女子教員の確保も難しくなる。訪問したある学校では、トイレがないため、校舎の裏側ですませている風景も見られ、不衛生である。よって、地域の状況にあった飲料水設備、トイレの設置は不可欠である。

=> 共学校では男女別のトイレは不可欠。

4 僻地農村部における女子教員の不足

僻地農村部における女子教員が不足しているが、女子の教職希望者がいないわけではなく、女性は家族とともに住むべきと言う社会規約に加えて、むしろ、農村部における女子教員養成学校の不足、困難な生活をしいられながらも農村部学校赴任手当（交通費の支給、住居賃貸費等）がないことに起因する。（出身地の学校赴任の希望者を除いては都市部赴任の希望者が圧倒的に多い。）

（補足説明）：ペシャワール都市部、スワット農村部における各女子教員養成校にて、どのような地方から何人の一定の定員数に対し何人の応募者数があったかを尋ねた結果は次の通り。これを見ると教職希望者の数は多いにもかかわらず、現状はこの需要にうまく対応していないことがわかる。

初等教育 女子教員養成校	出身地	定員数	(合格者)	応募者数
ペシャワール都市部	ノウシェラ	60	(60)	235
	スワビ	60	(60)	315
	チトラール	14	(7)	NA
	ファタ	12	(0)	NA
	ペシャワール	10	(10)	NA
スワット農村部	スワット	80	(80)	300
	ディール	65	(34)	40
	ブニール	20	(12)	12

なお、北西辺境州には男女教員養成校合わせて18校あるが、その内訳は次の通り。将来的には40校に増やしたいとのこと。教員養成校建設には他のドナー機関も関わっている。

3校の女子教員養成校校長3人に何割の卒業生が教職につけるかを尋ねたところ、ほとんど全員がつくと回答。

男子教員養成校	女子教員養成校
1 ハリプール	1 マラカンド
2 マラカンド	2 スワット
3 スワット	3 コハット
4 ペシャワール	4 ディアイカーン
5 コハット	5 マンセラ
6 ディアイカーン	6 ペシャワール
7 バンヌ	7 ペシャワール
8 ペシャワール	
9 ペシャワール	
10 カラック	
11 チトラール	

この他、6校の男女教員養成校が建設中である。

建設中の男子教員養成校	建設中の女子教員養成校
1 ディール (USAID)	1 コルダン (USAID)
2 スワビ (ADB)	2 ノウシェラ (USAID)
	3 カラク (USAID)
	4 チャルサダ (GTZ)

=> 初等教育の向上を目的とする共学の小学校建設という今回の案件の成功のためには、女子教員養成校の建設は不可欠である。どの地方で最も初等教育の向上が必要であるか、女子教員志望者が多く近郊における教員校を要望しているかなどを調査し、サイト選考基準を設定することが重要となる。

5 農村地域の実情にあった教育がなされていない。

生活に応用できる授業がなされていないため、地域社会では女子を通学させる見返りがないと考える。また、これは教師の質の問題とも関連がある。読み書き、算教に加えて、裁縫、料理、衛生、家事、子育てなど生活に密着したカリキュラムなどの開発、卒後も教師が指導、訓練を受けられる体制、在学中に適切な指導を現場の教師から受けられるよう養成校への小学校の併設は必要である。

6 教員の質の低さ

授業のカリキュラムにはコーランの暗記や反復練習が多く、生徒の興味を持たせるような教授法で行われていない。教員養成校の訓練機関で学んだことが現場で活かされていない、また卒後、教授法・教科についての知識の開発をおこなったりする機会もない。よって、付属小学校を設置し、学生にon-the-job trainingを行ったり、現職の教師に対するin-service trainingの必要性を元教員養成校の校長より指摘される。

=> 初等教育向上のための一環として、今後、専門家派遣、プロジェクト方式技術協力の形で教員養成の強力が可能である。

<各省庁、ドナー機関の女子就学率向上のための戦略>

政府機関、教育関連省庁、ドナー機関を訪問し、各機関における初等教育における女子の就学率向上のための戦略・活動について情報を収集。

1 連邦政府、州政府

連邦政府は共学における女子の就学率の向上を計るため、以下のガイドラインを設定し、州政府はこれを受けている。

- 1) 女子の小学校入学を優先
- 2) 小学校には女子教員を配属
- 3) 女子教員確保のため、現行の規定の緩和(年齢制限、資格の緩和、退職者の復職等)
- 4) 女子教員確保のため、ホステル(寮)等、地方赴任のさいの住居提供。

5) 可能なかぎり、地元出身の女子教員を配属。

2 女性開発省：インフォーマルな形の基礎教育

女子の低就学率は経済的理由に起因するとの見解（すなわち、制服、教材にお金をかけるよりも農作業、家事労働を手伝わすほうが家計を維持するのにより効率的との社会的通念）をもつ。ゆえに、UNICEFと協力し、Community School Programのもとで社会的経済的理由のために就学を続けるのが困難な女子に対し地域センターを設け、午前中は生活に応用できる教科（家政、裁縫）、午後は読み書き、算数の授業というようにカリキュラムをくみ、インフォーマルな形の基礎教育を促進させている。

3 世銀：北西辺境州における初等教育一般の問題、各ドナーの行っている初等教育向上のための戦略についての紹介・説明

1) サイト選択基準

学校建設地の選考にあつたては、地域のニーズベースよりも政治ベースで行われることが多く、実際のニーズに基づいてサイト選択が行われているかについては疑問が残る。それに加え、パキスタン、とりわけ農村部においては、女子の通学にたいする理解・社会的サポートが少ないため、サイト選択のさいジェンダー配慮（女子にとって安全で通学しやすいか。パキスタンの村は氏族社会を基盤につくられているが女性がこの境界を越えることは容易でないため、通学区はこの社会的境界内にあるか等の配慮。）がほとんどなされていず、女子の就学をますます困難にしている。よって、サイト選考にあつたては50%はニーズベースで行う等の選考基準を部分的に条件づけている。

（補足説明）：もと女子養成校校長（現在USAIDの教育プログラムオフィサー）の体験によれば、学校建設のための土地の提供者が学校の教室を取巻作物の貯蔵庫として使用し、そのため授業を廊下で行っていた。すぐに学校を使用しないよう通告したが、状況がかわらなかったので、教育庁に通告する旨をしらせたところ、反対に別の地域に赴任させると政治的バックアップのある地主にいわれたとのこと。

2) 農村部における女子教員不足

農村部における女子校の女子教員の確保がむずかしく、20%の女子校が閉鎖している。その原因として、女子教員の農村部赴任のインセンティブが少ないことがあげられる。

（補足説明）：教員養成校の学生に将来どこで教鞭をとりたいか尋ねたところ、ほとんど全員が出身地もしくは都市部での教鞭を望んでいることがわかった。都市部出身の学生に何故農村部で教えたくないのかを尋ねたところ、困難な生活（降雪量のおおい山間部チトラールでは、一年の半分以上ベシャワール都市部への道を閉ざされ、家族に会うことはおろか、野菜などの食料の調達も難しい）を強いられながらも住居費・交通費の手当てがなく都市部に比べ給料が低いこと、また親元を離れて知らない土地で働くことに身の不安を感じるとのこと。地方出身者は地元での就職を希望するが、女子教員の養成校が少なく、また女子の就学率も低く女子教員の確保が難しく、それが女子の就学の妨げになるという悪循環という問題がある。ちなみに、チトラール出身の女子教員養成校の学生の教員数は男子高校で就学せねばならなかったとのこと。

4 UNICEFによるCommunity School Program

UNICEFがCommunity School Programを開設し女子教員に住居を提供するなどして、女子生徒のドロップアウト率の低下に努めている。

5 ADBの経験からの教訓

5教室タイプの女子校を建設したが、通学する生徒が少なく教室も半分しかうまっていなかった。よって、女子の就学率の向上のためには建設することのみによるものではなく、WID視点などソフト面での配慮が鍵となるということ、ADBの経験が示している。

6 USAID

1) カリキュラムの開発、ガイドラインの作成の専門家の育成

MA, BA修得の高校教員を対象にカリキュラムの開発、ガイドラインの作成における指導を行っているが、その一部として、家庭の理解、女子就学の動機づけの一部として、生活に応用のきくカリキュラム（裁縫、公衆衛生、子育て等）も将来取り入れるべきと考えている。これらの指導を受けている教員は将来の養成校の指導教官となりうる。

2) 教育に関する調査

サブディスタリクトごとに教育に関する調査が行われ、報告書がまもなく完成する。

3) 女子就学率向上のために

生徒が子守のために幼い妹や弟たちを学校に連れてくる風景がみられるが、授業に集中させるためにも、また実際子守のために就学できない生徒のために保育園を設置するのは望ましいとの考え。より生活に密着した子育てや栄養・衛生についての教科を設け、保育園を対象に実践教育を行うなども考えられる。

文責：畑中 初音
パキスタン教育報告

資料 1 : 現地調査団の構成と日程

1. 現地調査団の構成

小野修司	(団 長)	国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査第2課
畑中初音	(開発と女性)	国際協力事業団 企画部環境女性課 シニア専門員
白井和成	(業務主任者)	(株)日総建
白井 明	(施設計画1)	(株)日総建
長野嘉茂	(施設計画2)	(株)日総建

2 現地調査日程

平成5年9月13日より10月12日までの30日間

- 9/13 (月) コンサル団員(白井和・白井明・長野)成田発
- 14 (火) イスラマバード着、JICA事務所打合せ、USAID 訪問
- 15 (水) ペシャワールへ移動、N.W.F.P.計画開発局及び教育局表敬
- 16 (木) N.W.F.P.初等教育部にてインセプションレポート説明、調査スケジュール打合せ、7地区の DEO (District Education Officer) より候補地のデータ収集
- 17 (金) (休日) ペシャワール地区候補地及び既設校調査
- 18 (土) コハット地区候補地調査、並びに教育局にて対象校選定基準など協議
- 19 (日) カラク地区候補地調査、並びに初等教育部・USAID より資料収集
- 20 (月) スワビ地区候補地調査、並びに初等教育部・USAID にて残り11地区の DEOより候補地データ収集・調査スケジュール打合せ
(午後、白井和イスラマバードへ移動)
官団員(小野・畑中)成田発イスラマバード到着
- 21 (火) (イスラマバード)
JICA事務所打合せ、大使館・教育省表敬
(ペシャワール)
チャルサダ地区候補地調査、並びにペシャワール DEOと打合せ・アンケート調査依頼、その他建設関連調査

- 22 (水) (イスラマバード)
財務経済省経済部及び女性開発省表敬、世銀事務所訪問、ベシャワールへ移動
(ベシャワール)
マルダン地区候補地調査
- 23 (木) ノーシェラ地区候補地調査、並びにN.W.F.P.教育局表敬
- 24 (金) (休日) 資料整理
- 25 (土) ベシャワール地区候補地及び既校調査、並びに初等教育部と打合せ、USAID 電算機部門より EMIS 等資料収集、ADB 訪問
- 26 (日) N.W.F.P.教育局にて無償システム打合せ、並びに初等教育部と打合せ、GTZ 事務所訪問、ベシャワールの男子及び女子教員養成校視察、また同日より現地下請けコンサル業者による建設候補地全サイトの本格的敷地調査開始(11月初旬まで)
- 27 (月) GTZ 事務所打合せ、初等教育部教材開発センタ打合せ、並びに中等教育部と打合せ・モデル校教員資格者に関する資料作成依頼
- 28 (火) ミニッツ協議、並びに初等教育部打合せ、人事院訪問・資料作成依頼、並びにスワット地区の女子教員養成校・女子小学校訪問
- 29 (水) ミニッツサイン、並びに中等教育部及び C&Wより資料収集、建設関連調査
(小野・畑中) イスラマバードへ移動
- 30 (木) スワット地区教材開発実験校訪問、並びに人事院より資料収集、建設関連調査
- 10/1 (金) (休日) 資料整理、モデル校素案作成
- 2 (土) 建設関連調査、初等教育部と素案について協議、並びにベシャワール大学より教員資格者に関する資料収集
- 3 (日) 初等教育部及び教育局に報告、補足資料収集後、アボタバットへ移動
(官団員) イスラマバード発、成田着
- 4 (月) アボタバット教科教員養成局にて女子教員養成校計画について予備打合せ、候補地検分、マンセラの女子教員養成校視察
- 5 (火) イスラマバードへ移動
- 6 (水) (休日) ローカルコンサルと打合せ、資料整理
- 7 (木) (休日) 建築事情視察、現地業者から見積り取得、資料整理
- 8 (金) (休日) 資料整理
- 9 (土) (休日) 資料整理
- 10 (日) JICA事務所、日本大使館、教育省に報告
- 11 (月) イスラマバード発
- 12 (火) 成田着

資料 2 : ミニッツオブディスカッション

MINUTES OF DISCUSSIONS
BASIC DESIGN STUDY
ON
THE PROJECT FOR THE IMPROVEMENT IN THE PRIMARY EDUCATION
FOR THE NORTH-WEST FRONTIER PROVINCE
IN THE ISLAMIC REPUBLIC OF PAKISTAN

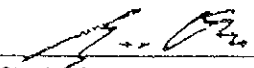
In response to a request of the Government of the Islamic Republic of Pakistan, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for THE IMPROVEMENT IN THE PRIMARY EDUCATION FOR THE NORTH-WEST FRONTIER PROVINCE (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

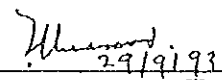
JICA sent to the Islamic Republic of Pakistan a study team headed by Mr. Shuji Ono, Second Basic Design Study Division, Grant Aid Study and Design Department, JICA, and is scheduled to stay in the country from September 14 to October 11, 1993.

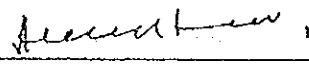
The team held discussions with the officials concerned of the Government of Pakistan and conducted field surveys at the study area.

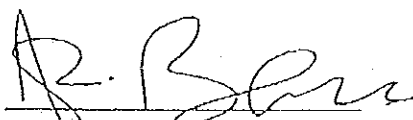
In the course of discussions and field survey, both parties have confirmed the main items described on the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Basic Design Study Interim Report.

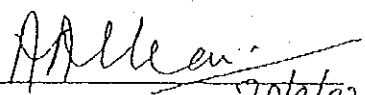
Peshawar, September 29, 1993

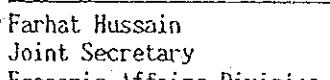

Shuji Ono
Leader
Basic Design Team
JICA


Masood-ur-Rehman Masood
Secretary
Education Department
N.W.F.P.


Abdul Jialil Mughal
Additional Secretary
Planning, Environment and
Development Department
N.W.F.P.


Ali Begum
Additional Secretary 29.9.93
Finance Department
N.W.F.P.


Dr. Abdul Aziz Khan 30/9/93
Joint Executive Advisor
Ministry of Education


Farhat Hussain
Joint Secretary
Economic Affairs Division
Ministry of Finance and
Economic Affairs

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to improve the primary education in the North-West Frontier Province in the light of gender equity.

2. Project Sites

The Project sites are to be selected from the list in the attached ANNEX-1.

3. Executing Agency

Education Department, N.W.F.P., is responsible for the administration and execution of the Project.

4. Items Requested by the Government of Pakistan

After the discussions with the Basic Design Study Team, the following items were finally requested by the Pakistan side, as the objective of the first field survey;

- Construction of 70 model primary schools having five (5) classrooms

However, the final components of the Project will be decided through the further studies in Japan.

5. Japanese Grant Aid System

- (1) The Government of Pakistan has understood the system of Japanese Grant Aid explained by the team.
- (2) The Government of Pakistan has agreed to take necessary measures described in ANNEX-II, on condition that the Grant Aid Assistance by the Government of Japan is extended to the Project. However, the Government of Pakistan requested to the Basic Design Team to consider that boundary walls and supply of water for the schools would be included in the Grant Aid.

6. Schedule of the Study

- (1) The consultant will proceed to further studies in Pakistan until October 11, 1993.
- (2) JICA will prepare the interim report in English and dispatch a mission in order to explain its contents and to carry out the second Basic Design Study, in the beginning of December, 1993.
- (3) In case that the contents of the report is accepted in principle by the Government of Pakistan, JICA will proceed to the next step.

S.O.

29/9/93

Q-

AK

R
30/9

ANNEX-I: Project Sites

Project sites are to be selected from the following list:

1. Peshawar District
 - 1) Hayat Abad Phase-1
 - 2) Hayat Abad Phase-3
 - 3) Babu Zai (Shah Alam)
 - 4) Gul Bela
 - 5) Masho Khel
 - 6) Budhni
 - 7) Jhagra
2. Nowshera District
 - 1) Taru Jabba
 - 2) Jalozai
 - 3) Mughulki
 - 4) Khashiki Payan
3. Charsadda District
 - 1) New Turlandi
 - 2) Shaki Kulali (Navi Killi)
 - 3) Mera Umar Zai
 - 4) Abdul Ali Killi
4. Mardan District
 - 1) Rustam
 - 2) Gumbat
 - 3) Karim Abad
 - 4) Fathma
 - 5) Baghicha Dheri
5. Swabi District
 - 1) Topi
 - 2) Adina
 - 3) Lahor
 - 4) Bachai Dagi
6. Kohat District
 - 1) Tough Payan
 - 2) Chargarri
 - 3) Mohammad Khawaja
 - 4) Ganjiano Killa
7. Karak District
 - 1) Town Committee
 - 2) Khada Banda
 - 3) Iqbal Bonda Taterkhel
8. Abbotabad District
 - 1) Darnthour
 - 2) Mirpur
 - 3) Bandi Dhondian
 - 4) Juna Chahhatti
9. Haripur District
 - 1) Pircot
 - 2) Tippra
 - 3) Bijian
 - 4) K.T. Ship No.2 Sector
10. Mansehra District
 - 1) Karkala
 - 2) Phulra
 - 3) Bisian
 - 4) Hamid Abad
11. Battagram District
 - 1) Polabela
 - 2) Kurwal Dab
12. Bannu District
 - 1) Amir Khan Nurur
 - 2) Bazida Surrani
 - 3) Azmaikillg Noor Aslam
 - 4) Kakki, Khass Kifayaiullah
13. Lakki District
 - 1) Begu Khel
 - 2) Gherni Khel
14. D.I. Khan District
 - 1) Line Police D.I. Khan City
 - 2) Pahar Pur T/Committee
 - 3) Basti Saeed Abad
 - 4) Town Committee Kulachi
15. Tank District
 - 1) Gomal Bazar
 - 2) Aslam Abad (Amakhel)
16. Dir District
 - 1) Hayaseri
 - 2) Lal Qila
 - 3) Munda
 - 4) Talash
17. Swat District
 - 1) Gujar Tangay
 - 2) Faqir Abad
 - 3) Qazi Abad
 - 4) Chail
 - 5) Gogdara
18. Bunir District
 - 1) Agarai
 - 2) Daggarr Qila
19. Malakand District
 - 1) Niasat Abad (Koper)
 - 2) Qadam Khela

S.O.

3
29/11/19

Am.

AZ

20/19

ANNEX-II: Necessary Measures to be taken by the Government of Pakistan
in case Japan's Grant Aid is Executed

1. To secure the sites for the Project.
2. To clear, level and reclaim the Project sites, when needed, prior to commencement of the construction.
3. To construct the access road to the Project sites prior to commencement of the construction.
4. To provide facilities for distribution of electricity, water supply, drainage, sewage and other incidental facilities to the Project sites.
5. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for banking services based upon the Banking Arrangement (B/A).
6. To exempt taxes and to take necessary measures for customs clearance of the materials and equipment brought for the Project at the port of disembarkation.
7. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into Pakistan and stay therein for the performance of their work.
8. To maintain and use properly and effectively that the facilities constructed and equipment purchased under the Grant.
9. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment.
10. To coordinate and solve any matters related, which may arise with a third party and inhabitants living in the Project area during implementation of the Project.
11. To assign appropriate numbers of qualified teachers and management staffs for each school and to mobilize them upon completion of the Project.

will be
discussed *
in December
1993

[Handwritten signature]

S.O.

29/1/93

[Handwritten signature]

20/9

資料3： 面談者リスト

■連邦政府機関

□教育省 (Ministry of Education)

Mr. M. M. Usmani	Secretary
Dr. Abdul Aziz Khan	Joint Executive Advisor, Primary & Non Formal Education
Dr. Syed Fayyaz Ahmad	Deputy Educational Advisor

□財務経済省 (Ministry of Finance & Economic Affairs)

Mr. Farhat Hussain	Joint Secretary Economic Affairs Division
--------------------	--

□女性開発省 (Ministry of Women Development)

Mr. Zafar Iqbal Rathore	Secretary
-------------------------	-----------

■北西辺境州教育行政機関

□教育局本局 (Education Department)

Mr. Masoodur Rahman Masood	Secretary,
Mr. Hifzur-Rehman	Additional Secretary
Mr. Qazi Muhammad Aslam	Chief Planning Officer
Mr. Sardar Muhammad	System Analyst

□教育局初等教育部 (Directorate of Primary Education)

Mr. Shar Jahan Khan	Director
Mr. Fidar Husain	Assistant Director (Planning & Development),
Mr. Khan Said	Assistant Director (P&D, II),
Mr. Habib Khan	Deputy Director (P&D),
Mr. Mohammad Fayyaz	Deputy Director (Research Development and Evaluation),

□教育局中等教育部 (Directorate of Secondary Education)

Mr. Mohammad Iqbal Malik	Deputy Director (P&S),
Mr. Qaisro Khan	Assistant Director (S.N.E.),
Mr. Ayyaz Khan	Statistical Officer,

□教育局地区教育部 (Divisional Directorate of Education)

Mr. Khurshid Ahmad	District Education Officer (D.E.O.) (Male), Primary Education (PE), Peshawar
Mr. Zar Khan Mohamad	Assistant D.E.O. (Male), PE, Peshawar
Ms. Shama Ambia	Deputy D.E.O. (Female), PE, Peshawar
Ms. Jamila Akhtar Malik	D.E.O. (Female), PE, Nowshera
Ms. Mamona Khulam	D.E.O. (Female), PE, Abbottabad

□教育局教育課程開発部

(Bureau of Curriculum Development & Education Extension Services, Abbottabad)

Mr. Mohammad Rafiq Khan Jadoon	Director
Mr. Mohamad Hussain	Deputy Director

■北西辺境州教育機関

□ペシャワール大学 (Peshawar University)

Dr. Mian Bashir Ahmad Kakakhel	Director, Institute of Education and Research
Mr. Javed Sikandar Rana	Lecturer

□アラマイクバル公開大学 (A.I.O.U.)

Mr. Mian Hidayatullah	Assistant Regional Director, A.I.O.U. Regional Office, Peshawar
-----------------------	--

□女子教員養成学校 (Government College for Elementary Teachers (G.C.E.T.) (Female))

Ms. Nayyar Hafeez	Principal, G.C.E.T. (Female), Manshra
-------------------	---------------------------------------

■北西辺境州その他政府機関

□計画環境開発局 (Planning, Environment & Development Department)

Mr. Mohammad Saleem Khan	Secretary
Mr. Abdul J. Mughal	Additional Secretary
Mr. Syed S. B. Bukhari	Chief Educational Officer
Mr. M. Zahid Elahi	Economist, Chief of Section (Foreign Aid & Industry)

□財務局 (Finance Department)

Mr. Ali Begum	Additional Secretary
---------------	----------------------

Ms. Mona G. Habib Curriculum and Instruction Specialist
Ms. Nizakat Shaheen Deputy Director,
Instructional Material Development Centre

□世界銀行 (World Bank)

Mr. Bashir Parvez Project Advisor (Education)

□アジア開発銀行 (Asian Development Bank: ADB)

Mr. S. Laeeq Ahmad Shah Deputy Project Manager,
Primary Education Girls Project

□ドイツ技術協力公社 (Deutsche Gesellschaft Technische Zusammenarbeit: GTZ)

Dr. Dieter Poschardt Chief Technical Advisor,
Primary Education Charsadda District
Pak-German Project (PECD Project)

Prof. Qazi Aslam Project Director

Mr. Neven Du Mont Architect, Building Coordinator

Mr. Jajjad Ahmad Khan Administration Officer

Mr. Junaid Shan Legal Advisor

□国際連合教育科学文化機関

(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization: UNESCO)

Mr. Shabbir Hussain Project Advisor,
National Educational Management Information
System (NEMIS)

□国際連合児童基金 (United Nations International Children's Emergency Fund)

~~Mr.~~ Riffat Sardar Project Officer (Edu/CEDC/WID)
Ms.

■民間企業

□現地コンサルタント (Local Consultant)

Mr. Mohammad Afzal General Manager (Development)
Engineering Consultant

Mr. Mohammad Sulaiman Chief Engineer,
Engineering Consultant

Mr. Hidayat Ullah Chief, Engineering Surveys,
Engineering Consultant

□現地請負業者 (Local Contractor)

Mr. Zamin Ahmad Khan	Chief Executive, Astron Construction Co.
Mr. Mohammad Farooq Khan	Administration Officer, Astron Construction Co.
Mr. Zulfikar Ali Awan	President, Parthenon General Contractors
Mr. Ajmal Farooqi	Managing Director, SAITA (Pakistan) PTE. Ltd.
Mr. Syed Junaid Alam Nasy	Managing Director, Shoney's International
B. Klogborg (Mrs. Ali)	Managing Director Pak Danish Insustries
Mr. Ghulam Siddiq Khan	Managing Director, Ground Water Concern (Pvt.) Limited
Mr. Wahid Nawaz	Managing Director, Drillers Associates (Pvt.) Ltd.

■日本人関係者

□在パキスタン日本国大使館 (Embassy of Japan)

村瀬 光一 (koichi MURASE)	一等書記官
小川 潔 (Kiyoshi OGAWA)	一等書記官

□国際協力事業団 (Japan International Cooperation Agency: JICA)

御手洗 章弘 (Akihiro MITARAI)	所長 (Resident Representative)
新垣 和成 (Kazushige ARAGAKI)	次長
織田 由紀子 (Yukiko ODA)	Women In Development Specialist

